

型番：YM-0022BO

本体操作説明書

夢多機能7インチカーナビ

※ナビゲーション操作については、別冊
「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ず、この本体操作説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

※取扱説明書は事前予告なく変更される場合があります。

※本書で使用されている画像はイメージです。実際の付属品とは仕様が異なる場合があります。

※76 ページに保証書が付いています。ご購入日、ご購入店名の記載、または同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。



事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見ないでください。
また、走行中に画面に集中したり機器の操作をしないでください。

はじめに

- ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき内容を十分理解したうえで正しくご使用ください。
- 誤ったご使用は、製品寿命を縮めたり、故障や事故を起こす原因になる可能性がありますので、取扱説明書の安全上のご注意や使用上の注意などを必ずお読みのうえ製品をご使用ください。
- 本製品の性能改善のため、製品仕様は予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。
- 取扱説明書で使用されている本製品の画像は印刷状況などにより実際の製品と異なる場合があります。
- 保証書は「ご購入日・ご購入店」などがわかる書類と一緒に大切に保管してください。

GPS ナビゲーションとは

本製品に搭載されております GPS によるナビゲーションシステムは、衛星よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行うシステムです。従いまして GPS ナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なります。その特性をご理解の上ご使用いただきますようお願いいたします。

GPS ナビゲーションの特性







- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPUに負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本製品のリセットボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境によってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承ください。
- ③電源をOFFにする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶しているため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本製品のリセットボタンを押してください。
- ④電源起動後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定ができない場合があります。目安として本製品の画面上に現在時間が表示されますと測位は完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめください。
- ⑤はじめてご使用のときや前回使用したときから遠く離れた状態で電源を入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと呼びます。）いったん受信完了し測位が完了した後は、GPSからの受信は速くなります。本製品はGPS専用ナビゲーションです。みちびきなど他の衛星を利用したシステムではございません。

目次

はじめに	P1
目次	P2
安全上のご注意	P3 ~ 8
使用上のご注意	P9 ~ 14
商品構成	P15
各部名称	P16
リセット機能	P17
車への取付け	P18 ~ 23
電源について	P24
操作説明	P25 ~ 72
電源を入れる / 切る	P25
メインメニュー	P26
ワンセグTV	P27 ~ 41
ワンセグテレビ操作画面の機能	P28
ワンセグTVの各種設定	P29
チャンネル設定	P30 ~ 32
ワンセグTVの基本設定	P33 ~ 35
ワンセグTVの番組表	P36 ~ 37
番組を録画・再生する	P38 ~ 39
静止画を保存・再生する	P40 ~ 41
マルチメディア	P42 ~ 54
音楽	P43 ~ 44
動画	P45 ~ 46
静止画	P47 ~ 48
Bluetooth	p49 ~ 58
電子書籍	P59 ~ 64
設定	P65 ~ 72
ボリューム	P66
バックライト	P66 ~ 67
画面補正	P68
言語	P69
ナビパス設定	P69
日付・時間	P70
初期化	P70
GPS 情報	P71
システム情報	P72
USB	P72
ハードウェア仕様	P73
お困りの時は	P74 ~ 75
保証書	P76
お問い合わせ（サポートセンター）	P77

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、ご使用になるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、重要な内容を記載しています。次の内容表示・図記号をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。
図記号	図記号の意味
 禁止	この表示は禁止（やってはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	この表示は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	この表示は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。










*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。












*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。




*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。

■本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。




 警告	異常を感じたとき
 	煙が出ていたり、変な匂いがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。コンセントを抜き、煙が出なくなることを確認してください。
 	内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 	落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 	電源コードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 警告	取扱い上の注意
 	取扱いは優しく行ってください。本製品は衝撃に弱いため、落ちたり倒れたりすると画面割れ、破損、画面が映らない、音が出ない、動作がおかしいなどの故障の原因となります。その場合有償修理対応となります。
 	取扱い方法や注意事項を守って正しく使用してください。注意事項などを守らないことによって生じる不具合や取扱いの不備による故障と認められた場合は保証対象外となります。
 	設置用スタンド（吸盤スタンド）は必ず定期的に点検してください。吸盤部分は車内での直射日光、温度、湿度などの影響を受けるため吸着部分が経年劣化し弱くなります。設置用スタンド（吸盤スタンド）がはずれ、タッチパネル及び液晶画面が破損した場合は保証期間内であっても有償修理対応となります。
 	本製品が濡れたり、本製品に水が入ったりしないようにしてください。特に雨天、降雪、海辺、海岸、川辺、水辺などでご使用時は注意してください。発煙、火災、感電などの原因となります。
 	小さなお子様や乳幼児の手の届く場所で使用、放置、保管しないでください。部品の誤飲や重大な事故につながる可能性があります。必ず保護者の管理下で使用、保管してください。

 警告	設置について
	屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないでください。本製品が落下して、けがをしたり、故障、破損の原因となります。





警告

設置について

	エアバックの動作を妨げる場所には絶対に本製品を取り付けしないでください。エアバックシステムが正常に作動しない原因となり、危険です。
	運転や視界を妨げ同乗者に危険をおよぼす場所には本製品を取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
	ひざの上などで使用するなど直接肌にふれないようにしてください。低温やけどの原因となります。(低温やけどは体温より高温のものを長時間あてていると発生するやけどです。)







注意
















設置について

	温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化の原因となることがあります。
	湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。
	風通しの悪い場所で使用しないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により動作不安定になることがあります。
	本製品を移動させる場合は、DCアダプターやその他外部接続線ははずしてください。配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり落下によるけがの原因となることがあります。

警告










電源について

	DCアダプターを分解、改造、修理しないでください。火災・感電の原因となります。
	DCアダプターは付属のものを使用してください。指定以外のDCアダプターを使用すると火災・故障の原因となることがあります。
	DCアダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したり、引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。無理に曲げたりねじったり束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
	DCアダプターはDC12V 24V対応です。電源変換器は使用しないでください。電圧変換器(DCコンバータ)などを使用すると故障の原因になることがあります。
	時々電源プラグを抜いて接点にほこりが付着していないか確認し、掃除をしてください。電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。
	DCアダプターのヒューズを交換するときは必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定以外のヒューズを使用すると火災や故障の原因になります。

 警告		電源について
	電源供給口は増設や加工をせず、車のシガーソケットに直接、付属のDCアダプターをご使用ください。増設や加工をすると給電が安定せず、不具合の原因になる場合があります。	
 注意		電源について
	ぬれた手でDCアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。	
	旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。万一故障したとき、火災の原因となることがあります。	
	付属のDCアダプターを本製品以外の他の用途に使用しないでください。本製品以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となる場合があります。	
	電源プラグはソケットの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。	
 警告		使用について
	エアバックの動作を妨げる場所には絶対に本製品を取り付けしないでください。エアバックシステムが正常に作動しない原因となり、危険です。	
	運転や視界を妨げ同乗者に危険をおよぼす場所には本製品を取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。	
	本製品を布やカバーなどで覆った状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。	
	運転者は走行中に複雑な操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、運転中に複雑な操作をするときは必ず安全な場所に車を停車させ、サイドブレーキをかけた後に操作してください。	
	故障や異常な状態のまま使用しないでください。本製品で故障（映像や音が出ない）や異常（煙が出る・異臭・異音）が起きた場合は直ちに使用を中止してください。	
	本製品は船舶、航空機の主航法装置として、または登山用地図としては使用できません。測定誤差が生じるため、事故やけがの原因となります。また塩害などにより、火災、感電の原因となります。	





警告

使用について

	修理・分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理はご購入店またはサポートセンターにご依頼ください。
	内部に異物を入れないでください。針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	雷が鳴り出したら本製品や電源プラグに触れないでください。火災・感電の原因となります。
	水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因になります。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。
	歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は、周囲の安全に十分注意し直視しないでください。交通事故の原因となります。
	ナビゲーション案内は実際の状況と異なる場合があります。本製品では交通規制の変更などにより、実際の交通規制と異なる場合があります。ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従ってください。交通事故の原因となります。
	MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「MP3」をつけないでください。WMAファイル以外のファイルに、拡張子「WMA」をつけないでください。MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい大きな雑音が出たりスピーカー破損の原因となります。ファイル作成時は拡張子にご注意ください。
	動作中に microSD カードを抜かないでください。本製品で音楽、静止画、動画再生、電子書籍の再生中に microSD カードを抜くと、本体の誤作動や microSD カード破損の原因となります。
	使用しない場合はシガーソケットから DC アダプターを取り外してください。車のバッテリー上がりの原因となる場合があります。

注意

使用について

	ヘッドホン、イヤホンなどをご使用になるときは音量をあげすぎないでください。大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。
	運転中は大きな音量でのご使用はしないでください。またイヤホン、ヘッドホンはご使用にならないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。また外部接続機器使用時はその音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないでください。中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

注意事項

- GPS電波が受信できない場所(建物の中、地下、見晴らしの悪い場所など)でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合があります。
- GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお勧めします。
- 液晶画面は、傷つきやすいので、硬いものでタッチしないでください。
- 初回の充電は電源をOFFにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。
- 電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- 地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

免責事項

- 本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

使用上のご注意

取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
 - 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないようにした状態で外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
 - 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴム、ビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
 - 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
 - 長期間使用しないときは機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- ※液晶、タッチパネル、アンテナの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

設置・保管について

- 本製品は二輪車での使用環境を想定しておりません。二輪車では使用しないでください。
- エアバックの動作を妨げる場所や、タッチ画面に直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- 高温・低温・高湿になる場所に本製品を保管、設置しないでください。
- 雨が吹き込む場所、水のかかる場所、ほこりや湿度が多い場所に本製品を保管、設置しないでください。
- 運転者の視界を妨げる場所や操作時に手が届かない場所には設置しないでください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。しばらくご使用にならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。
- 本製品を長時間使用しない時、または車のエンジンを切った場合は、電源スイッチをOFF状態にしてください。また、電源ケーブルを本体からぬいてください。
- 電源ケーブルを抜く時には、コードをひっぱったりしないでください。
- 電源をOFFにしなかったり、電源ケーブルを挿入したまま長時間保管すると内蔵バッテリーの放電や機器の誤作動の原因になる場合があります。

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準にて範囲以内の視界を確保することが義務付けられています。ダッシュボード上に機器を取り付ける際には、運転手の視界を妨げないよう取り付けてください。

【前方視界基準（対象車両）】

専ら常用の用に供する自動車（乗車定員 11 人以上の自動車及び被牽引自動車を除く）
車両総重量が 3.5 トン以下の貨物自動車

【基準概要】

自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m 円柱（6 歳児を模したもの）を鏡などを用いず直接視認できること

お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤は絶対使用しないでください。割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカード（microSD カード）について

- 本製品は地図データが内蔵フラッシュメモリーに収録されていますのでmicroSDカードスロットを使用し音楽・動画再生、静止画再生、電子書籍の閲覧ができます。
- 対応メモリーカード：microSD/SDHC タイプ 32GB まで
- ※一部メモリーカードは正常に認識されない場合がありますのでご注意ください。（著作権保護機能と UHS-I 規格には対応していません。）
- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。対応していない種類のメモリーカードを本製品に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本製品およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本製品でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 挿入、取り出しの際は、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。また向きを間違わないようご注意の上、最後までしっかりと挿入してください。無理な挿入や取り出しは破損や故障の原因となります。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損消滅することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損、消滅することがあります。記録されたデータの破損消滅については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたる場所や、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本製品から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。メモリーカードは消耗品ですので定期的に新品に交換することをお勧めします。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードを購入してください。

テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをご使用になる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越しなどで受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合などにも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰、窓際から遠い室内、地下などでは電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。
- 受信状態が悪くなると映像にブロックノイズが出る、音声途切れる、画面が静止する、画面が黒くなり音が出なくなるといった症状が出る場合があります。
- 車で移動中に受信する際は家庭用のデジタルチューナに比べて受信エリアが狭くなり受信できない場合があります。また周辺環境などにより受信状況が変化します。
- 本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器などを車内で使用したり本製品に近づけると、映像、音声などに不具合が発生する場合があります。これらの機器の使用を中止するか本製品から離してご使用ください。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。
- 電波の特性上建物や山が障害となって受信状態が悪くなる場合があります。
- トンネル内や放送局から遠ざかった場合など電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 車の走行速度によって映像や音声か乱れたり、受信できなくなることがあります。また停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり映像や音声か乱れたり、受信できなくなることがあります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信信号機、ネオンサインなどの放電機器の近い場所で受信すると、映像や音声か乱れたり、雑音が入ったり、受信できなくなることがあります。
- テレビの受信状態が悪いときは、しばらくそのままお待ちください。もしくはワンセグを再起動してください。また車の場所、方向、速度などにより受信状態が変化します。

ワンセグについて

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。

放送エリアの目安は（<http://dpa.tv/area.jp/>）にてご確認ください。

フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより、電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがあります。受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

GPS 受信について

- GPS 衛星から電波を受信していても、測位に時間がかかる場合があります。電源を入れてから数分～数十分間は地図上に現在地が表示されない場合があります。
- 本製品はGPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、地図上に現在値を表示します。しかし最大約 30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また GPS 衛星は米国国防総省によって管理されていますので意図的に測定用電波のデータが変更されるときがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。
- 本製品は GPS の情報だけを検出してルート案内を行います。受信状態や誤差により正常なルート案内ができない場合もありますので案内の内容を参考にしながら交通規制に従い走行してください。
- 始めてご使用になる際は位置を測定し現在の位置を表示するまで数分～数十分程度の時間がかかります。電源を入れた後、GPSの受信が完了してから走行を始めてください。初めてご使用になるとき、または長期間ご使用になっていないときは、見晴らしの良い場所で衛星から信号を受けて測位しやすくしてください。
- 次の条件によっては誤差または GPS の受信状態が低下しやすくなります。
 - ・強力な電波発生源が近くにある場所（携帯電話の中継局、携帯電話抑制装置のある建物など）
 - ・山の中、森林の中、周囲が高い建物、高速道路下、高架下、ガード下、トンネル、建物内駐車場など上空を遮るものがある場合、雪、雨、曇天などの悪天候による場合、または衛星配置条件により受信可能な衛星が少ない時間帯など
 - ・GPS 衛星からの電波が建物などで反射して誤差が生じる場合

テレビ/GPS の受信妨害について

- 本製品を、動作中のほかの電子機器の近くで使用しないでください。他社のナビゲーション、GPS レーダー、ドライブレコーダー、FM ラジオ、機器アンテナ、テレビ、ノートパソコンなど、これらの電子機器の影響で GPS 電波やテレビ放送電波の受信状況が悪くなる場合があります。
 - 車の中でご使用する電子機器（FM ラジオ、ETC、Bluetooth、ドライブレコーダー、レーダー探知機など）による電波受信妨害や一部の車種に使用されている熱遮断用のガラス、フィルムなどにより電波が遮られ、電波の受信感度が悪くなったり受信しなくなることがあります。本体の GPS 受信がよくできるよう設置場所などを変更してください。
- ※設置位置変更による付属品の交換は出来かねます。設置前に受信状態をよく調べてから設置をしてください。

画面保護シートについて

- ご使用になる前には、画面保護シートをはがしてからご使用ください。
- 保護シートが貼られていると、タッチスクリーンが正しく動作しないことがあります。
- 市販の保護シートは貼らないでください。誤動作の原因になります。

液晶ディスプレイ及びタッチスクリーンについて

- 本製品はタッチスクリーンが装着されていますが、取扱いには下記の点に注意してご使用ください。
 - ・直射日光などが当たると画面が反射し、見づらくなりますので、直射日光を遮るか、角度を変えて直射日光が当たらないよう調節してください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり液晶画面が故障するおそれがあります。
 - ・とがった物質（針やピンなど）を使用すると画面が損傷し、誤作動や故障の原因となります。
 - ・タッチスクリーンを操作する際には、強い圧力を加えたり衝撃などをあたえないでください。故障や破損の原因となります。
 - ・高温、高湿または極端に低温の場所では使用しないでください。
 - ・画面のお手入れの際にはアセトン、アルコール類、または酸性洗剤などは使用しないでください。
 - ・市販の液晶パネル保護フィルムを使用した場合、正常に作動しないことがあります。
- 液晶は製造過程において画素にいくつかの欠け（黒点・白点）が出る場合がありますが、製造上回避できない現象であり不具合ではございません。このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますので予めご了承ください。
- 寒いところでご使用の際、画面が尾を引いて見えたり、暗く見えたりする場合がありますが故障ではありません。温度が上がるにしたがって症状がなくなっていきます。
- 静止画を画面にしばらく映したままにしたとき、残像が出たままになる場合がありますが時間が経つとともに戻ります。使用中に画面や本体が暖かくなりますが故障ではありません。

内蔵バッテリーについて

- お買上時は、内蔵バッテリーが十分に充電されていません。充電した後にご使用ください。
- 内蔵バッテリーに充電した後でもご使用にならない場合は、自然放電し使用時間が短くなります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。繰り返しの充電によりバッテリーが消耗し使用時間も短くなります。
- 内蔵バッテリーに充電しても使用時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命(経年劣化)が考えられます。
- 内蔵バッテリーへの充電が少ない場合は、製品の電源が入らなくなる場合もあります。その際は、DCアダプターを使用して充電を行い、十分に充電した後ご使用ください。
- 内蔵バッテリーのみでの長時間使用はできません。通常使用や長時間使用は、DCアダプターやACアダプター（別売品）をご使用ください。
- 内蔵バッテリーのみでの使用時に画面の明るさ調節や音量調整などを頻繁に行うと使用時間が極端に短くなります。
- 内蔵バッテリーが入っている本製品を直射日光が当たる場所や炎天下の車内など高温になる場所に放置しないでください。（バッテリーの漏液・発熱・破損・発火の原因になる恐れがあります。）
- 内蔵バッテリーの漏液・異臭が発生した場合は、直ちにご使用を中止してください。また、漏液した電解液に絶対に触れないでください。
- 内蔵バッテリー充電中やナビ本体使用時などに本体裏面が熱くなる場合がありますが、製品の異常ではありません。
- 内蔵バッテリーの使用時間は、使用環境やバッテリーの劣化度により異なります。
- バッテリーを廃棄する場合はお住いの市町村のルールに従ってください。

電源について

- 給電は増設や加工をせず、車のシガーソケットに付属の DC アダプターを差し込んで行ってください。
- 必ず付属の DC アダプターをご使用ください。指定規格以外の DC アダプターを使用すると電源がはいらぬ、動作しないといった不具合がおこる場合があります。
- 長期間使用がなかった、または本製品の内蔵バッテリーのみで長時間使用された場合、電池切れで、電源が入らない場合があります。このような場合は、十分に充電をおこなってから電源スイッチを押してください。本製品を使用しないときは、必ず電源を切るようにしてください。
- 本製品には ACC 連動機能が装備されています。(一部車には対応していない場合があります。) 内蔵バッテリーでご使用の場合は必ず本体電源ボタンで ON/OFF の切り替えを行ってください。
- 付属の DC アダプターは車のエンジンをスタートさせてから接続してください。付属の DC アダプターを接続してから車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本製品の故障や不具合の原因となる場合があります。
- 運転停止後、車から降りる際には必ず DC アダプターを抜いてください。
- 規定以外のヒューズを使用すると火災や故障の原因になります。

その他

イヤホン(ヘッドホン)：別途お買い求めの上、ご使用ください。

(3.5 mm ステレオミニジャック)

miniUSB 入力端子：AC 電源アダプター/シガーライターアダプター (DC アダプター) パソコンからの充電時に各電源ケーブルを接続する端子です。

※音楽、動画、写真、テキストなどデータは本体仕様に合わせパソコンから microSD カードにコピーしてください。

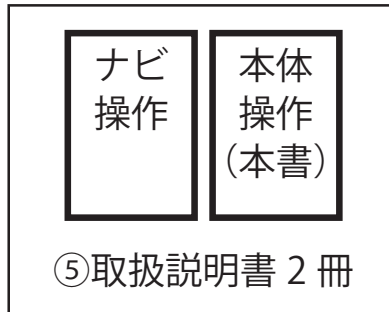
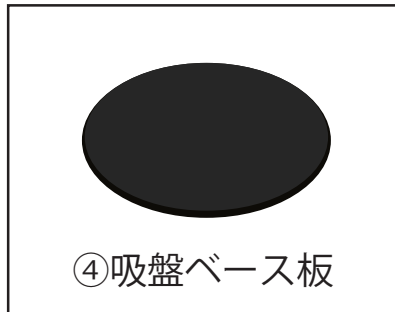
※パソコンはお客様ご自身でご用意ください。パソコンの操作などはサポート対象外となります。予めご了承ください。

免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、有償修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の保証書は本製品を業務用の車両(大型トラック・バス・タクシー・商用車など)に使用した場合適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、個人情報管理はお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は電子機器のため本製品から微弱な電磁波ノイズが発生することがあります。この微弱な電磁波ノイズが車両または車両に搭載されている機器に影響をあたえないように十分にご検討いただき、本製品の取り付けを行ってください。なお、本製品のご使用にあたり車両および搭載機器への影響による直接的、間接的な影響につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。また車両に搭載されている電子機器から発生する微弱な電磁波により、GPS 信号を受信できないなど本製品の機能が阻害される可能性もありますのでご注意ください。

商品構成

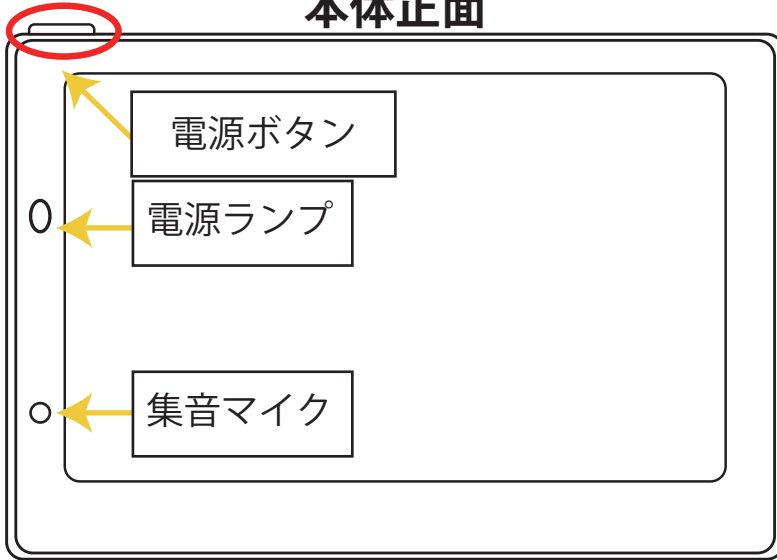
本製品を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。
(画像はイメージです。下記構成品イメージは実際の構成品と異なる場合があります。)



※注意：取扱説明書に掲載された構成品は品質向上のため予告なしに変更される場合があります。

各部名称

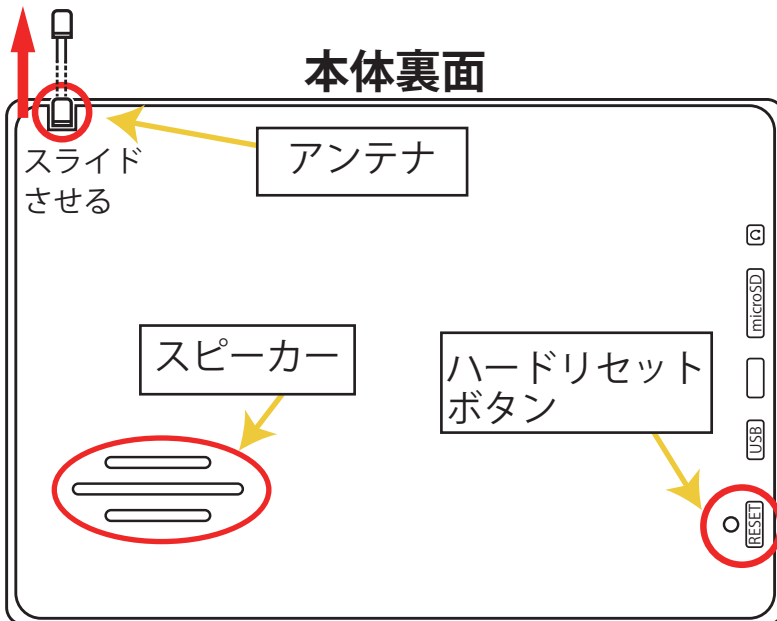
本体正面



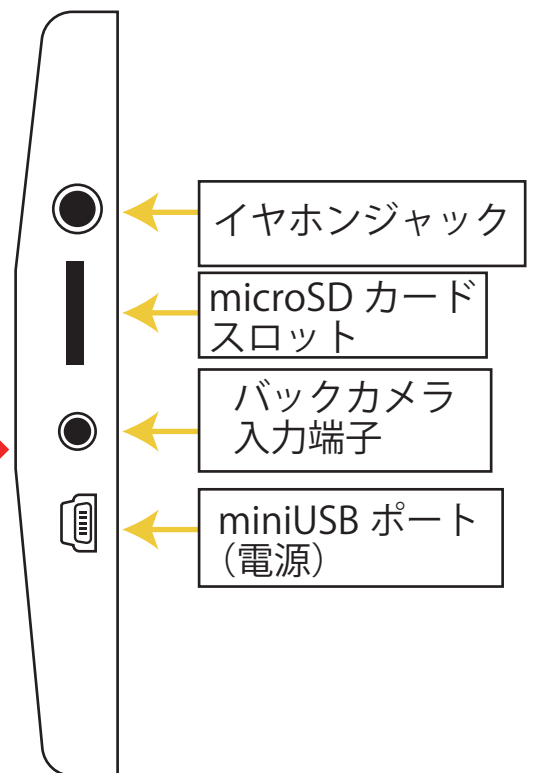
本体電源ランプ

赤点灯：充電中
緑点灯：本体起動中
(充電中は赤点灯)
消 灯：満充電

本体裏面



本体側面



※注意

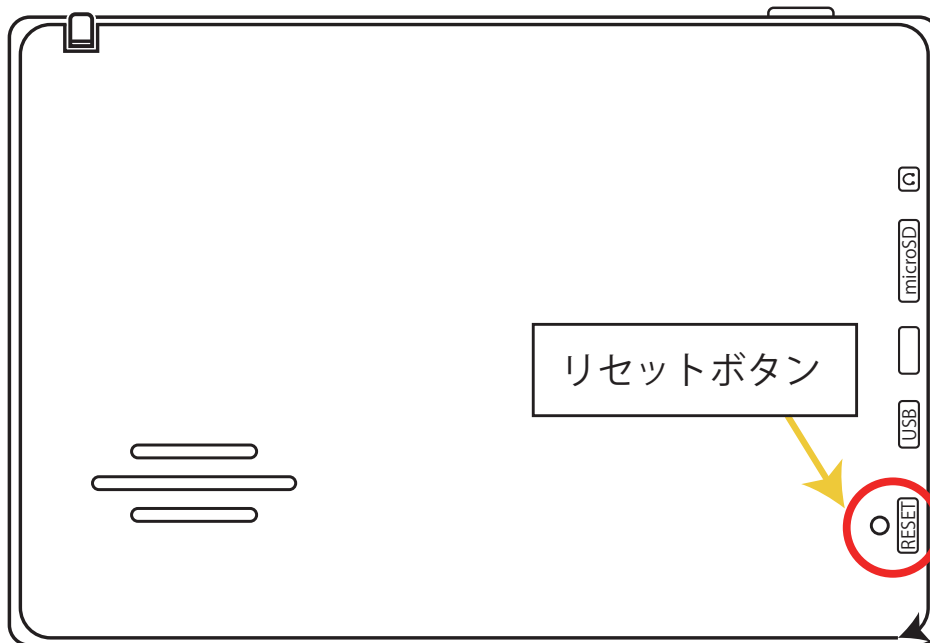
- 音楽・写真・テキスト表示を利用する際は別売りの microSD カードをご利用ください。本製品は再生のみ可能であり、編集・削除はパソコン上での操作となります。
- 充電時及び内蔵バッテリーでご使用の際は背面が熱くなる場合がありますが故障ではありません。

リセット機能

ハードリセット

本製品になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、クリップのような細くて折れにくいもの（先のとがっていないもの）でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。

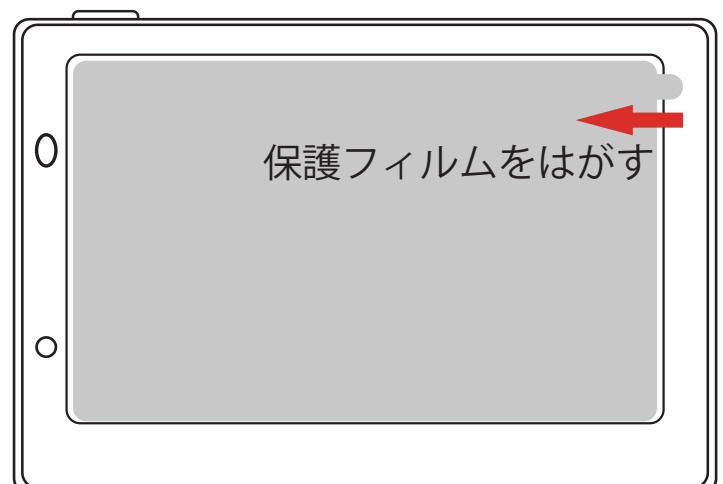
※ハードリセットを行う場合は必ず microSD カードを抜いてください。



※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンを先の細いもので押してリセットを行ってください。（長押し 15 秒→短押し 1 回：計 2 回押し）

パネルの保護フィルムについて

本製品は、出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止の為に保護フィルムが貼られています。ご使用になる際は、保護フィルムを剥がしてご使用ください。貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

前方視界基準

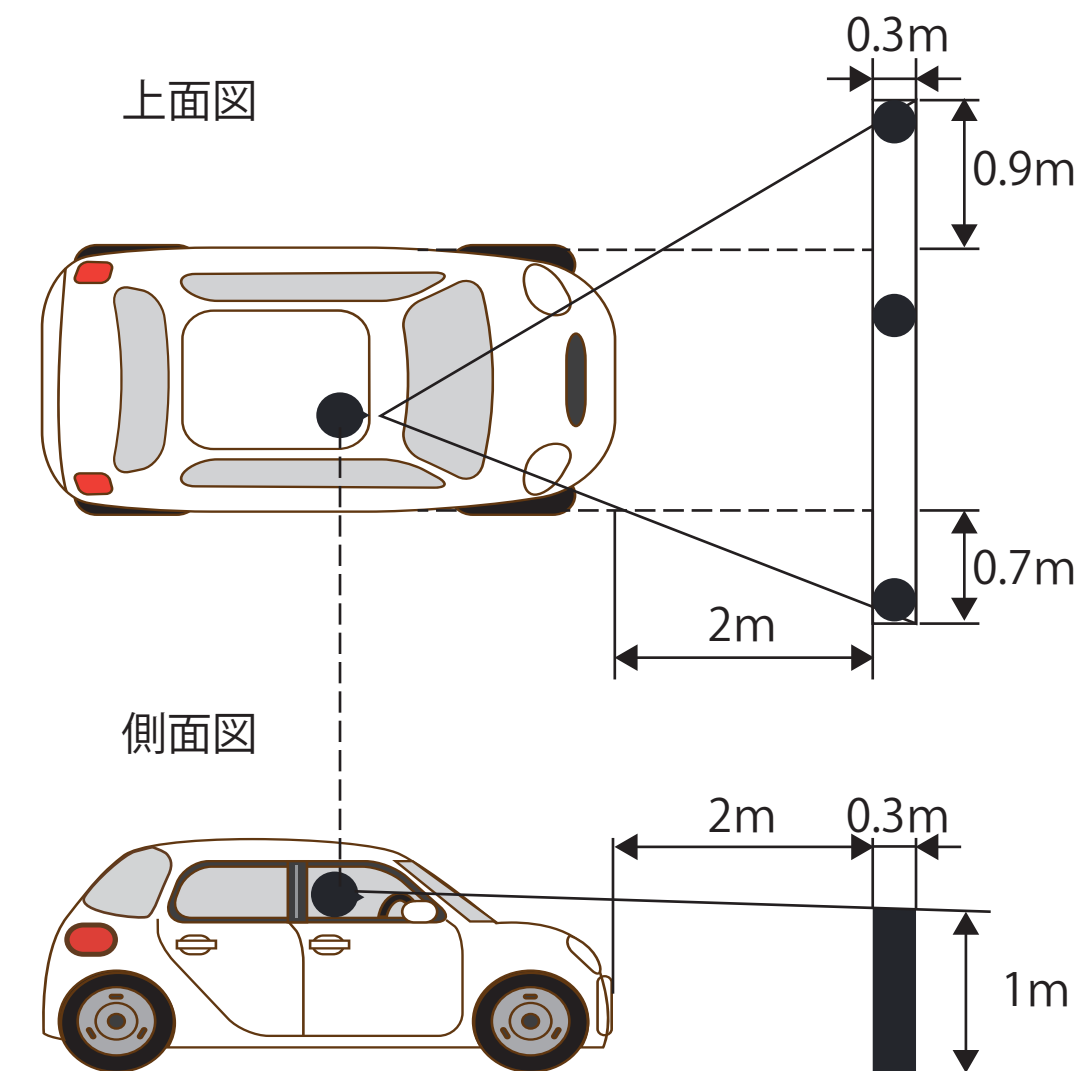
●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）

車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡などを用いず直接視認できること。

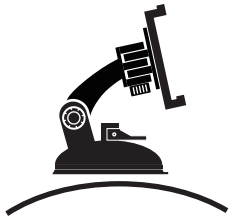


※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

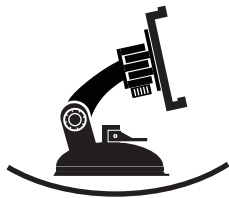
取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーやご購入店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。

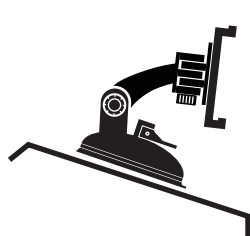
・密着しない曲面
例) 凸面



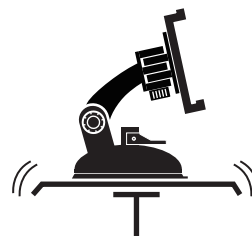
・密着しない曲面
例) 凹面



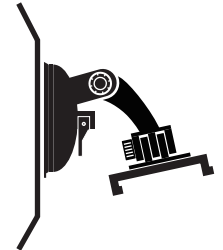
・傾いた面



・不安定な面



・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、前方視界を十分に確保でき安全基準を満たした位置であることを確認して貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラスなどにあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板の取り付け位置が決定したら、貼り付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 市販の両面テープ前処理剤などを使用するとききれいにふき取れます。
使用される場合は説明書をよくお読みになり、貼り付け面にはがれ、変形、割れなどの不具合の無いこと確認の上、取扱説明書に従ってご利用ください。
- 両面粘着テープの貼り付けは一回のみです。貼り直しはしないでください。
(貼り付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼り付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼り付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープなどが確実に取付いていることを確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

注意

ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所、高温になる場所で、ご使用になる場合ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

スタンドの取付け方法

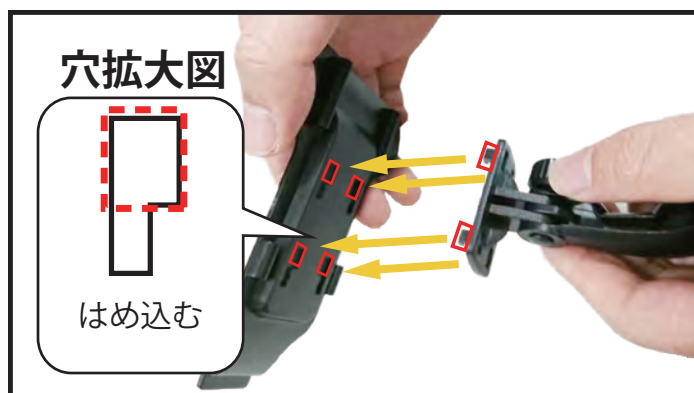
運転中の前方視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

ベース板を車に取り付ける

- ①吸盤ベース板の貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。貼り付け後は接着が安定するまで24時間以上置いてください。



スタンドを組み立てる



- ①デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。



- ②スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

- ※デバイスホルダーの上下方向に注意してください。
- ※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強めに押してください。
- ※デバイスホルダーとスタンドが組立状態で納入されている場合は、フックがしっかりロックされていることを確認ください。
- ※デバイスホルダーをスタンドから外してご使用の際は、逆方向に両手でスライドさせて外してください。

スタンドを車(ベース板)に固定する

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定してください。



① 圧着させる。



② レバーを倒してベース板にしっかり固定させる。

ナビ本体をスタンドに固定する

スタンドの固定用ツメをナビ本体のくぼみ（上部1か所、下部2か所）に合わせてカチッとロックがかかるまで押し込み固定してください。



① スタンド下部のツメに合わせて本体をセットし、上部のツメを合わせる。



② 上部ツメを親指で、はさむように強く押してカチッとロックがかかることを確認する。

ナビ本体の角度を調節する

固定ナットを緩め、お好みの角度に調整してから固定ナットをしめてください。

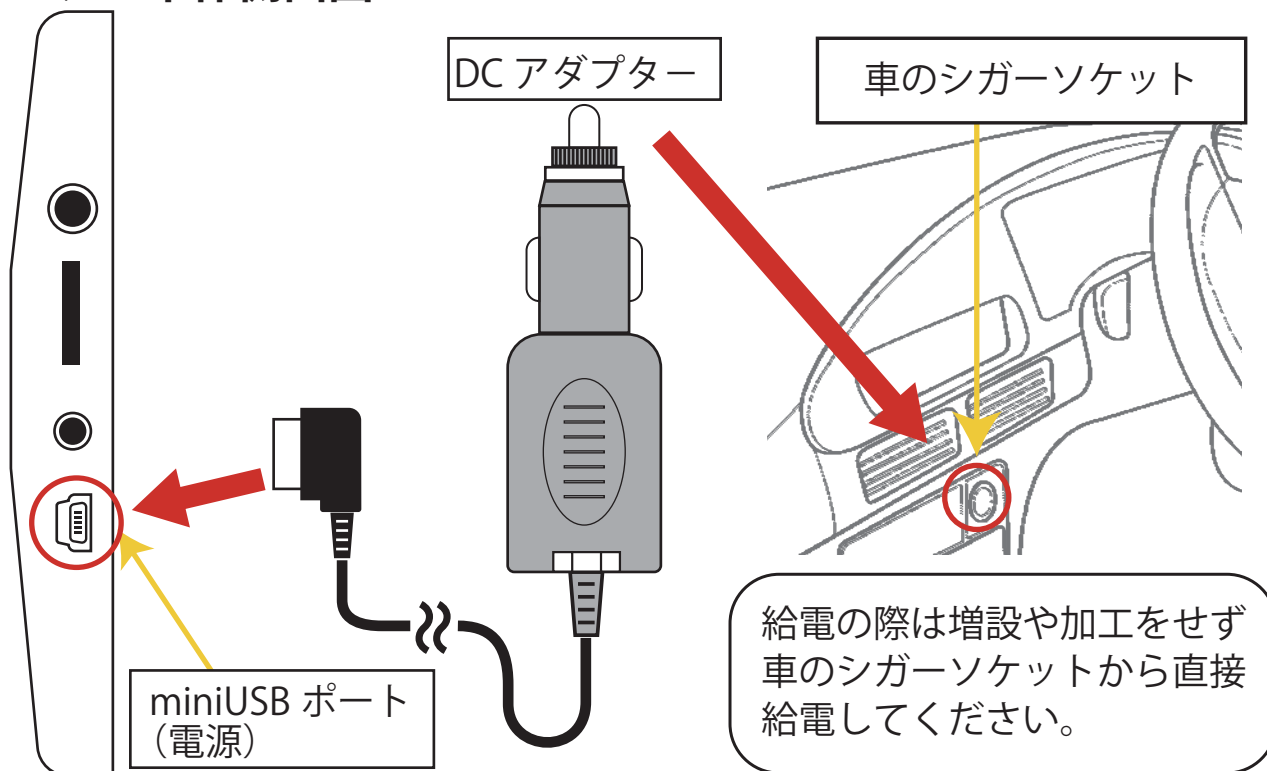


注意

※運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロックをご確認いただき確実に取付けができていますか確認の上で使用ください。

※万が一、落下などによる液晶、タッチパネルの破損があった場合補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

ナビ本体側面図



- ①本体側面の miniUSB ポートに DC アダプターを接続する。
- ②DC アダプターを車のシガーソケットにさす。

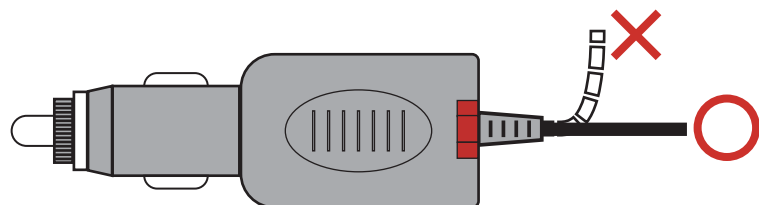
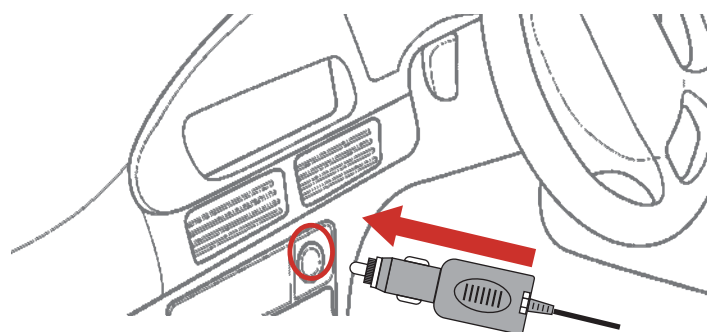
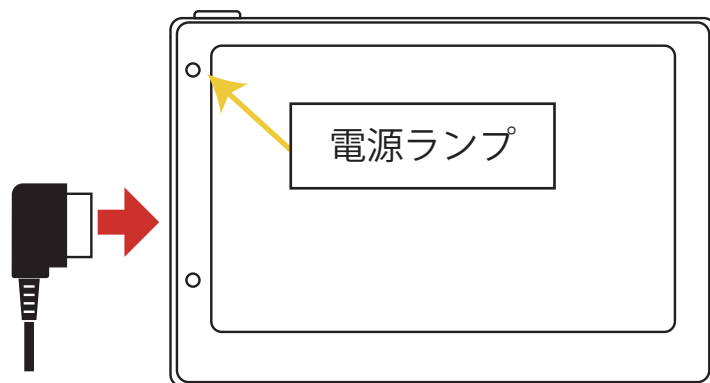
※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。

※DC アダプターはまっすぐ、ゆっくりさしてください。

※奥までしっかりとさしてください。

※配線は運転に支障の無い様に配線してください。

※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。プラグやソケットの接続不良になる場合があります。



DC アダプターのコードは根元から折り曲げないでください。断線、発火の原因になることがあります。

本体電源ランプ

- 赤点灯：充電中
- 緑点灯：本体起動中
(充電中は赤点灯)
- 消 灯：満充電

電源について

本製品は、お車のシガーソケット(DC12Vまたは24V)から付属のDCアダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

イグニッションキー連動電源 ON/OFF 機能について

本製品は、エンジン連動機能(オートスタート機能)を搭載しています。お車のシガーソケットに付属DCアダプターを接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本製品の電源も自動的にON/OFFができます。

※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフになる場合があります。

※一部車種では使用できない場合があります。

充電について

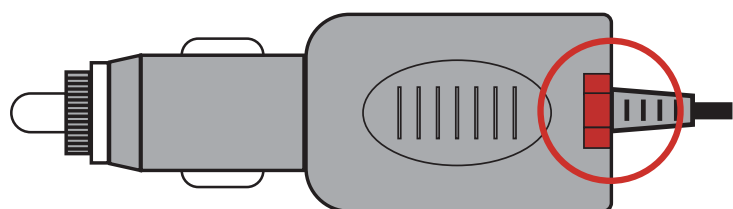
初回使用時や、前回の乗車から時間が空いた時などは、内蔵のバッテリーの蓄電が少なくなっています。必ず下記方法で初期充電を行ってください。

- ①車のエンジン起動
- ②車載用DCアダプターを接続します。(充電中は電源ランプが赤点灯します)
- ③電源ボタンを押し手動で本体の電源をOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。

フル充電時間約4時間

※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。その際はナビ本体の電源がOFF状態で、最低30分以上の初期充電を十分におこなってから電源をいれてください。



正常に通電できている場合DCアダプターのランプが赤く点灯します。



画面にこのマークが出たときはバッテリー残量が不足していません。充電を行ってください。

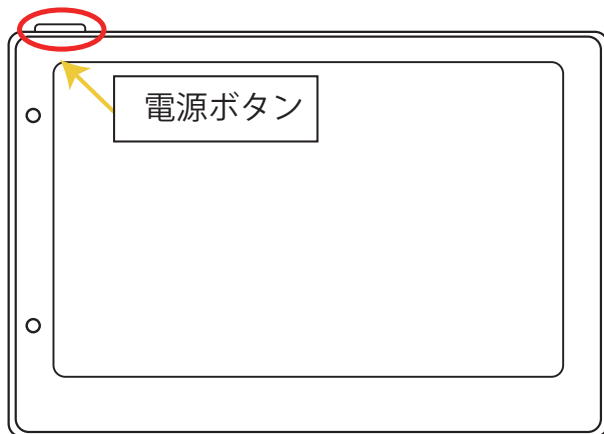
操作説明

1 電源を入れる / 切る

エンジンをかけ、付属の DC アダプターをナビ本体にセットし、車のシガーソケットに差し込むと、DC アダプターに電気が流れて自動で電源がつきます。エンジンを切ると DC アダプターへの給電が止まり自動で電源が切れます。※一部車種により異なります。

手動で電源を入れる / 切る

ナビ本体の電源ボタンを約 3～5 秒間長押しする。



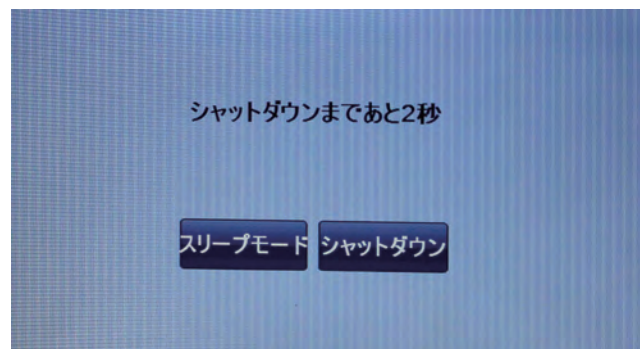
①電源を入れる

電源が切れた状態で約 3～5 秒間電源ボタンを長押しするとナビ本体が起動しメインメニュー画面に切り替わります。



②電源を切る

電源が入っている状態で約 3～5 秒間電源ボタンを長押しするとシャットダウンメニューが表示されます。数秒間操作がない場合は自動で電源がオフになります。



- ・「シャットダウン」・・・すぐに電源が切れます。
- ・「スリープモード」・・・スタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。

2 メインメニュー

電源起動後、自動でメインメニュー画面が表示されます。
ナビゲーション、テレビ、メディア、設定の4つから使用したい機能のアイコンを選択してタッチしてください。



ナビゲーション

目的地までの案内をする機能です。

詳しくは別紙参照。

(ナビゲーション操作説明書)



ナビゲーション

マルチメディア

microSD カードに保存した音楽、動画、書籍、静止画などの再生や Bluetooth 接続操作ができる機能です。



マルチメディア

TV

ワンセグテレビを見るための機能です。



TV

設定

本体設定の操作を行う機能です。

(タッチ音・時間など)

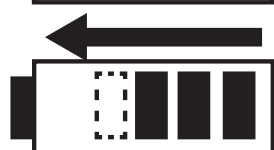


設定

バッテリー残量表示



満充電時



充電中
(1メモリずつ増える)

3 ワンセグTV①

メインメニュー画面から「TV」アイコンを選択してタッチするとワンセグテレビの機能を使用できます。
初回使用時は使用前に必ずチャンネル設定を行ってください。



免責事項

「TV」アイコンをタッチすると免責事項の案内画面に変わります。必ず内容をよく確認してください。

「確認」をタッチするとワンセグTV操作画面へと移動します。

「キャンセル」をタッチするとメインメニュー画面へ戻ります。

ワンセグTVをご利用の際は必ずアンテナを伸ばしてください。



3 ワンセグ TV②

ワンセグテレビ操作画面の機能



①チャンネル	現在表示されているチャンネルです。
②録画データ	録画したデータの一覧です。
③ワンセグ TV 設定	ワンセグテレビに関する設定ができます。
④番組表 (EPG)	番組表を確認することができます。
⑤音量	音量を上げる 消音 ON/OFF 音量を下げる
⑥時間表示	時間の表示です。
⑦アンテナ表示	電波状態の表示です。 電波最大 電波なし
⑧ワンセグ TV 終了	TV を終了してメインメニューへ戻ります。
⑨静止画	再生中画面の静止画を撮影します。※ 1
⑩録画	再生中の番組を録画します。※ 1
⑪再生 / 一時停止	録画を再生 / 一時停止します。
⑫停止	録画を停止させます。
⑬チャンネルを変える	ひとつ前のチャンネルへ戻る ひとつ後のチャンネルへ進む

※ 1 : 別売りの microSD カードが必要です。

3 ワンセグTV③

ワンセグTVの各種設定

ワンセグTV設定をタッチ
ワンセグTVトップ画面から「設定」
アイコンをタッチしてください。



チャンネル

利用地域に合わせて受信可能な
放送局の設定などができます。



ビデオ

ビデオ再生時の画面サイズの調節
ができます。



基本設定

言語、音声、字幕、などの基本
設定ができます。



情報

現在システムのバージョン情報
を確認できます。



戻るときは左上の矢印をタッチしてください。

3ワンセグTV④

チャンネル設定（スキャン操作） 1

ご利用の地域に合わせてチャンネルを調整します。

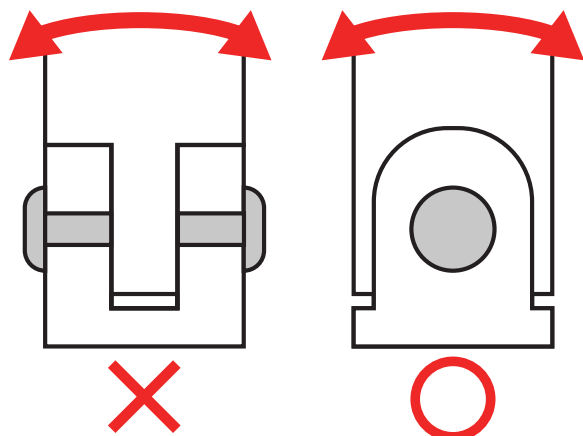
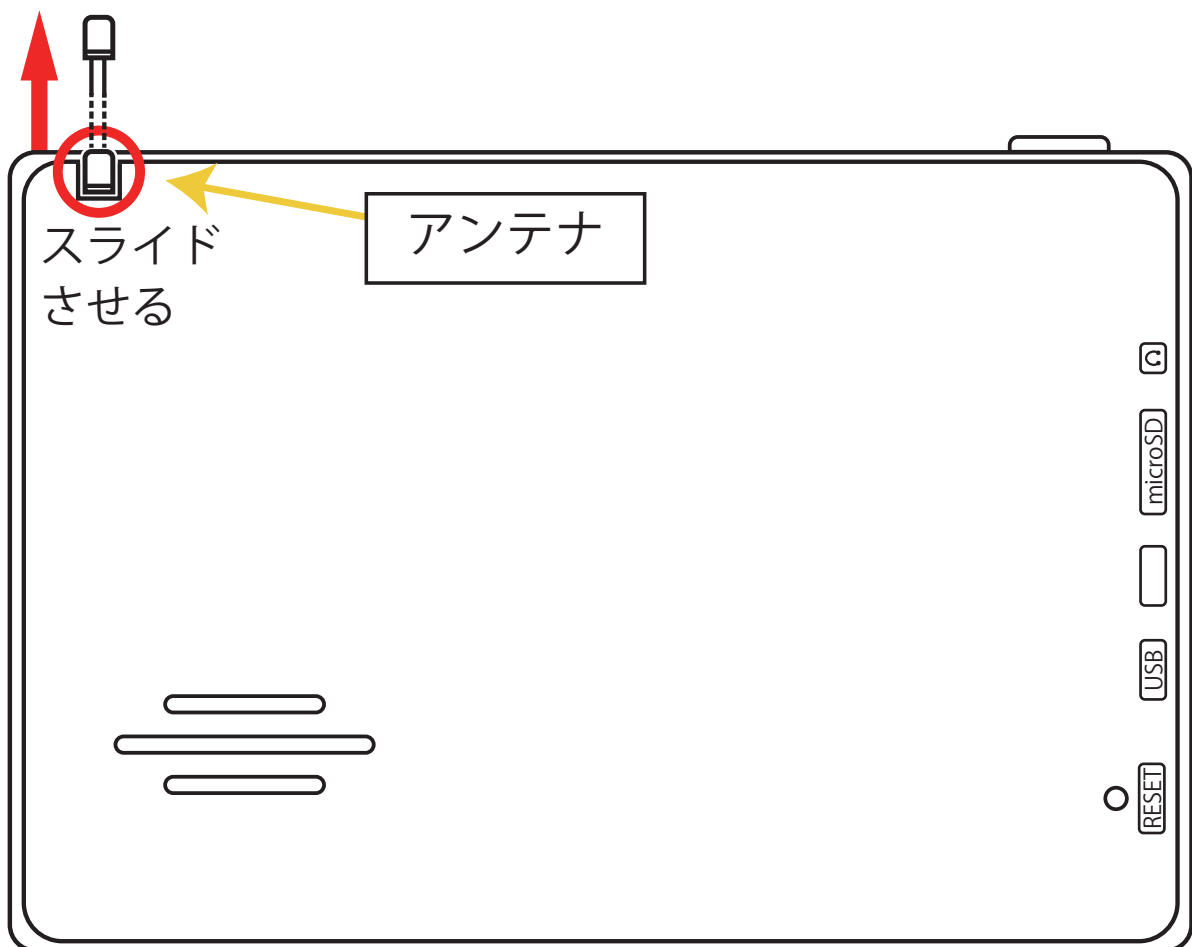
初回使用時は使用前に必ずチャンネル設定を行ってください。

初回設定後は、地域が変わらない限りこの操作は必要ありません。

①見晴らしが良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。

アンテナは本体裏面、上部に収納されています。引き出すときは、まっすぐゆっくりと可動部が出るまで引き出してください。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押し込んでください。



注意

アンテナ根本部分は、ビスでとまっている状態です。無理な方向にアンテナを動かしたり、引っ張ったりすると破損の原因となります。

3 ワンセグTV⑤

チャンネル設定（スキャン操作） 2

②ワンセグTV設定をタッチ
お近くの受信可能な放送局を
設定するためにスキャン操作を
行います。
ワンセグTVトップ画面から「設定」
アイコンをタッチしてください。



③「チャンネルメニュー」から
「地域」を選択
ワンセグTV設定のタブが
「チャンネル」であることを確認
して、「地域」をタッチしてください。



④ご利用地域を選択
ご利用地域を選択します。
例：「近畿」→「兵庫」を選択

兵庫県の受信可能な放送局一覧
が表示されます。
※この時点では受信できない放送
局も含まれる場合があります。



⑤チャンネルをスキャンする
「スキャン」をタッチすると
受信可能な放送局の検索を
開始します。



3 ワンセグTV⑥

チャンネル設定（スキャン操作） 3

⑥「適用」をタッチ

スキャンが終わると「スキャン完了」と表示されます。

スキャン完了後、「適用」をタッチすることにより放送局の設定ができます。



お車などで長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。

その際は、再度新しい地域での再スキャンもしくはALLで再スキャンを行ってください。

受信局がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。



3 ワンセグ TV⑦

ワンセグ TV の基本設定 1

言語設定

日本語：設定画面が日本語で表示されます。

English：設定画面が英語で表示されます。

音声チャンネル構成

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

音声スイッチ

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ 1 ⇄ オーディオ 2

字幕

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効：字幕放送時の字幕は画面に表示されません。

日本語：字幕放送時の字幕は表示されます。

放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより二ヶ国語、副音声、ステレオ音声(ステレオイヤホン使用時)をご利用できます。番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、オーディオ 1 に戻してから切換えてください。
電源OFF ON やテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的にオーディオ 1 に戻ります。

ワンセグ TV の基本設定 2

①ワンセグ TV 設定をタッチ

ワンセグTVトップ画面から「設定」アイコンをタッチしてください。



3 ワンセグ TV⑧

ワンセグ TV の基本設定 3

②基本設定

言語、音声、字幕、などの基本設定ができます。

操作したい設定の右側の▼をタッチしてください。

プルダウンメニューが開きます。選択したい方をタッチしてください。

音声から字幕まで同じ方法で設定してください。

最後に「適用」をタッチして設定を完了してください。



3 ワンセグ TV⑨

ワンセグ TV のビデオ設定

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

アスペクト比

画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）で表示されます。

レターボックス：横長の画面上下に黒枠が出た状態で表示されます。

①ワンセグ TV 設定をタッチ

ワンセグTVトップ画面から「設定」アイコンをタッチしてください。



ビデオ

「ビデオ」をタッチて、ビデオ再生時の画面サイズの調節ができます。

画面サイズ調整右側の▼をタッチしてください。



プルダウンメニューが開きます。選択したい方をタッチしてください。



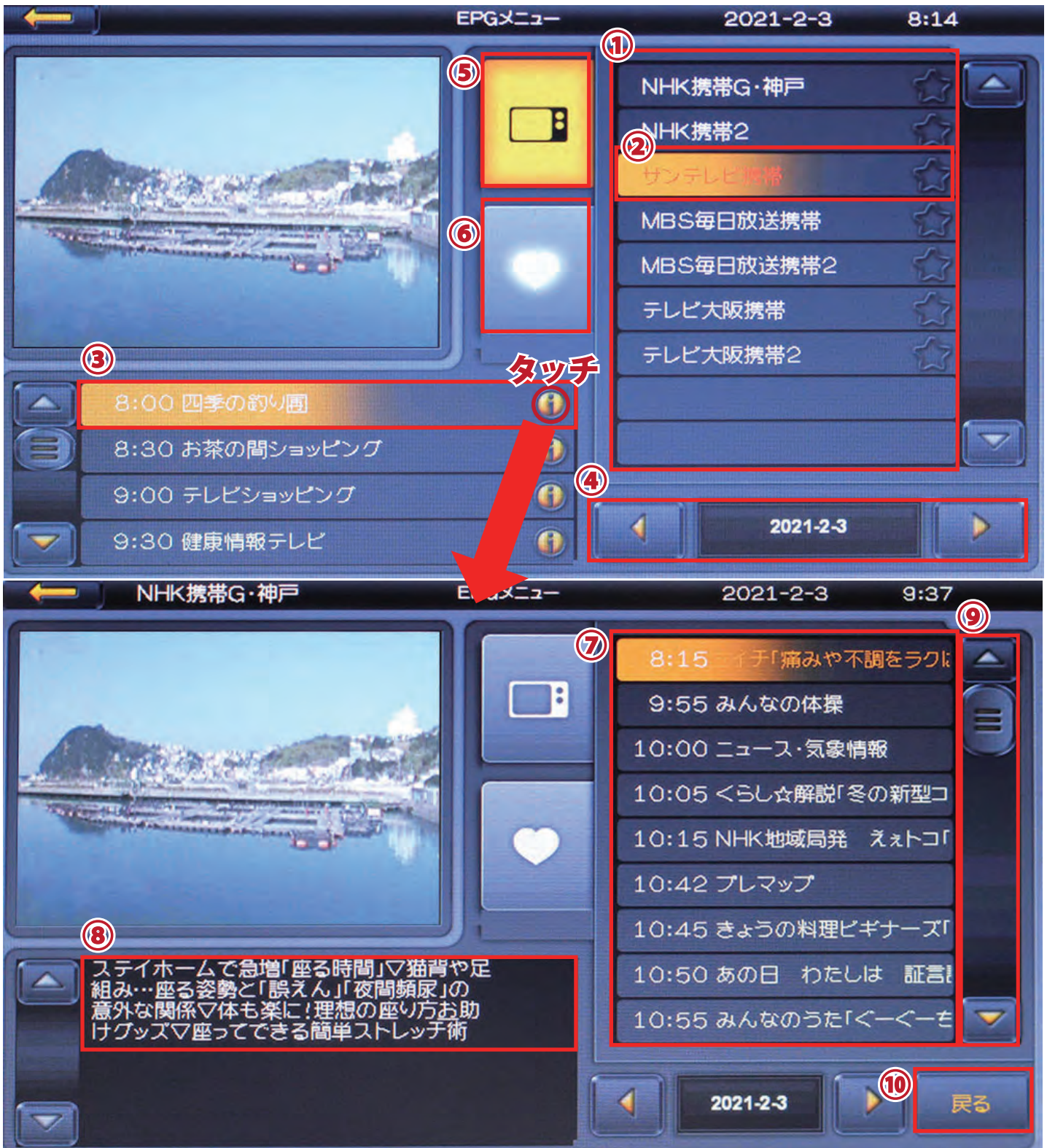
最後に「適用」をタッチして設定を完了してください。



3ワンセグTV^⑩

ワンセグTVの番組表 1

EPG（電子番組表）でその日の番組内容を確認できます。



① 表示できるチャンネル一覧	⑦ 選択しているチャンネルの時間別番組
② 選択しているチャンネル	⑧ 番組の詳細
③ 選択している番組	⑨ 上へ 任意の場所まで移動
④ 放映される日にち	下へ
⑤ 通常番組表	⑩ ひとつ前の画面に戻る
⑥ お気に入り番組表	

3 ワンセグ TV^⑪

ワンセグ TV の番組表 2

①ワンセグ TV 番組表をタッチ
ワンセグTVトップ画面から「番組表」
アイコン(EPG)をタッチしてください。



②番組情報を開く
左の番組の中から詳細を知り
たい番組右側のアイコン **i** をタッチ
すると、そのチャンネルの番組情報が
表示されます。



③番組の詳細情報を見る
画面右側の番組予定表をタッチすると
その番組の詳細情報が表示されます。

お気に入りについて

よく見るチャンネルは右側の星マーク
「☆」をタッチするとお気に入りの
チャンネルとして登録できます。

登録状態：「☆」が黄色くなる

ハートのアイコン **♡** をタッチすると
登録したチャンネルの一覧を見ること
ができます。

※番組登録はできません。
※チャンネルスキャンが出来ていない場合
お気に入り登録はできません。



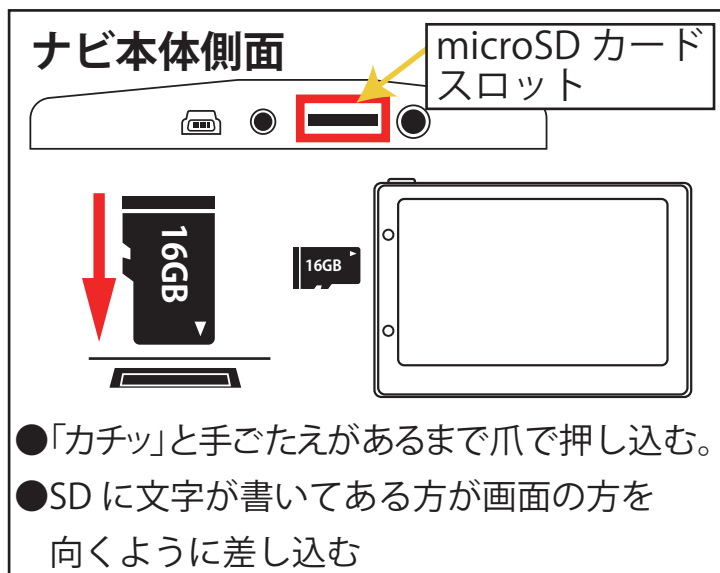
3 ワンセグ TV^⑫

番組を録画する


視聴しているテレビ番組を microSD カードに録画することができます。


①空の microSD カードをいれる。
ナビ本体側面の microSD カード
スロットに空の SD カードを挿入
してください。

microSD カードを挿入する際は
向きなどにご注意のうえ無理に
差し込んだりせず、まっすぐ
慎重に、カチッと手ごたえが
あるまで入れてください。



②番組を録画する

録画したい時に画面右側「録画」
アイコン  をタッチすると
録画開始します。
画面左上のチャンネル名が
「録画中 ...」にかわります。


③録画を終了（ストップ）する
録画中に画面右側「停止」アイ
コン  をタッチすると
録画を停止します。



3 ワンセグTV[®]⑬

番組を再生する


①録画を再生する


録画を再生するときは画面左上「録画データ」アイコン  をタッチし録画したデータを選んでください。


録画データを選択後、「OK」をタッチしてください。
(放送局名、録画日時がファイル名になります)

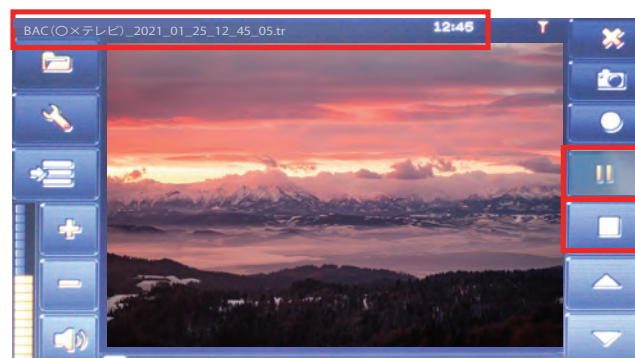
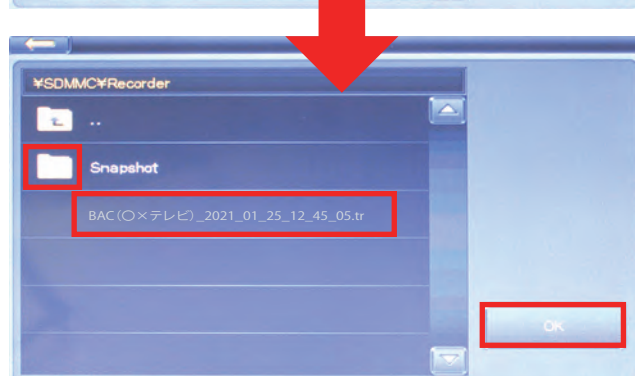
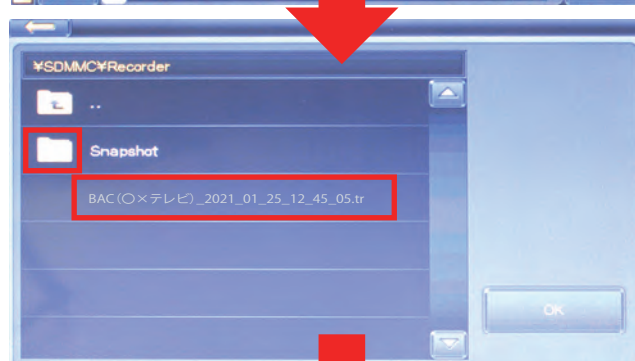
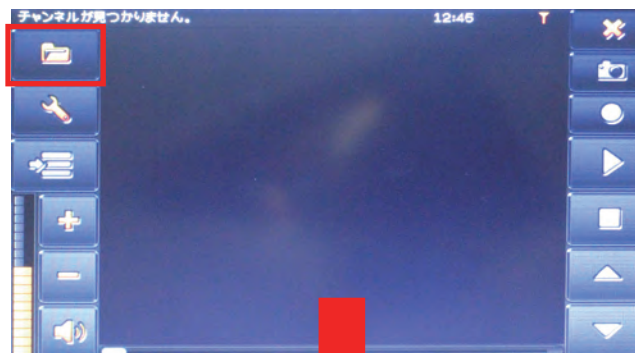
②再生中の表示

録画再生中は画面左上の表示が再生中のファイル名になり日付が収録した日時にかわります。

再生中の録画を一旦停止する場合は画面右側の「一時停止」アイコン  をタッチしてください。

一旦停止中の録画を再生する場合は画面右側の「再生」アイコン  をタッチしてください。

再生 / 一時停止中の録画を完全停止する場合は画面右側の「停止」アイコン  をタッチしてください。



※ワンセグTVで録画した動画は「メディア」→「動画」での再生はできません。「テレビ」の「録画データ」からご覧ください。

3 ワンセグ TV⑭

静止画を保存する

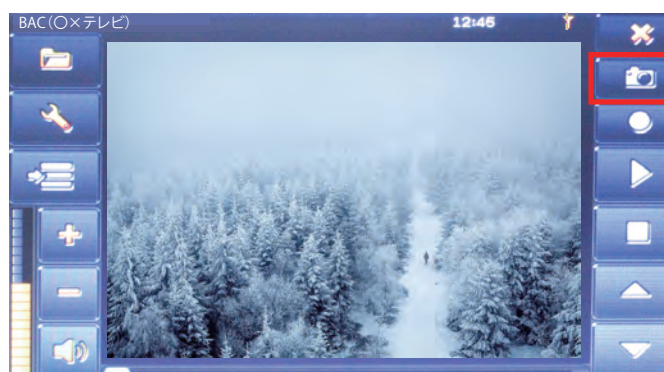
視聴しているテレビ番組の静止画を microSD カードに保存することができます。

①空の microSD カードをいれる。

ナビ本体側面の microSD カードスロットに空の SD カードを挿入してください。

②静止画を撮影する


静止画を撮影したい瞬間に画面右側「静止画」アイコン  をタッチすると静止画を撮影します。

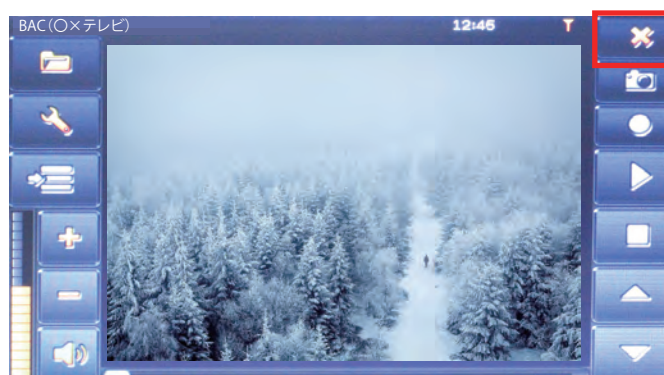


静止画を再生する 1

静止画を再生するときは「TV」からは再生できません。一度「メインメニュー」画面に戻り、「マルチメディア」から再生してください。

①ワンセグ TV 終了を終了する

画面右上の「終了」アイコン  をタッチすると、ワンセグ TV を終了してメインメニュー画面へ戻ります。



3ワンセグTV^⑮

静止画を再生する 2

②マルチメディアから静止画を再生します。

メインメニュー画面の「マルチメディア」アイコンをタッチして、マルチメディアトップ画面を開きます。



③フォトを選択

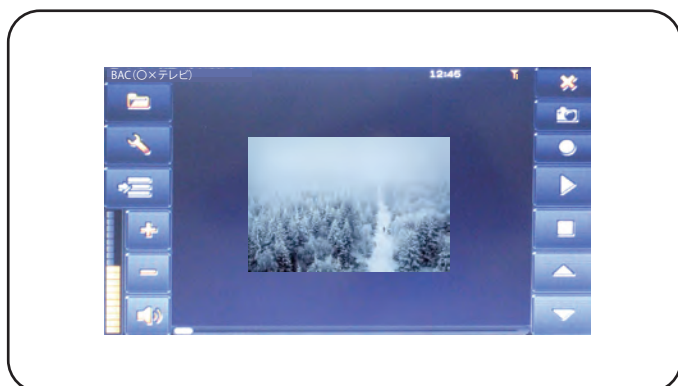
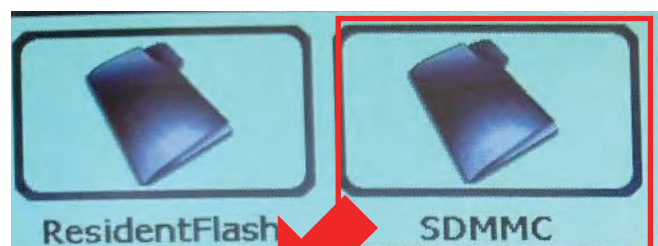
マルチメディアトップ画面からフォトを選択します。



④記録したファイルを選択

「SDMMC」→「Recorder」→「Snapshot」の順に選択後、見たい画像を選んでタッチしてください。

1つ前の画面に戻る場合は画面左上の「戻る」アイコンをタッチしてください。



4 マルチメディア①

マルチメディア機能ではパソコンなどから microSD カードに保存した動画、音楽、写真、電子書籍をお楽しみいただけます。

メインメニュー画面から「マルチメディア」アイコンを選択してタッチするとマルチメディア機能を使用できます。



ミュージック

SDカードに保存した音楽の再生ができます。

ビデオ

SDカードに保存した映画や映像を再生できます。

フォト

SDカードに保存した静止画を再生できます。

Bluetooth

外部機器とBluetooth通信ができます。

電子書籍

SDカードに保存した電子書籍を再生できます。

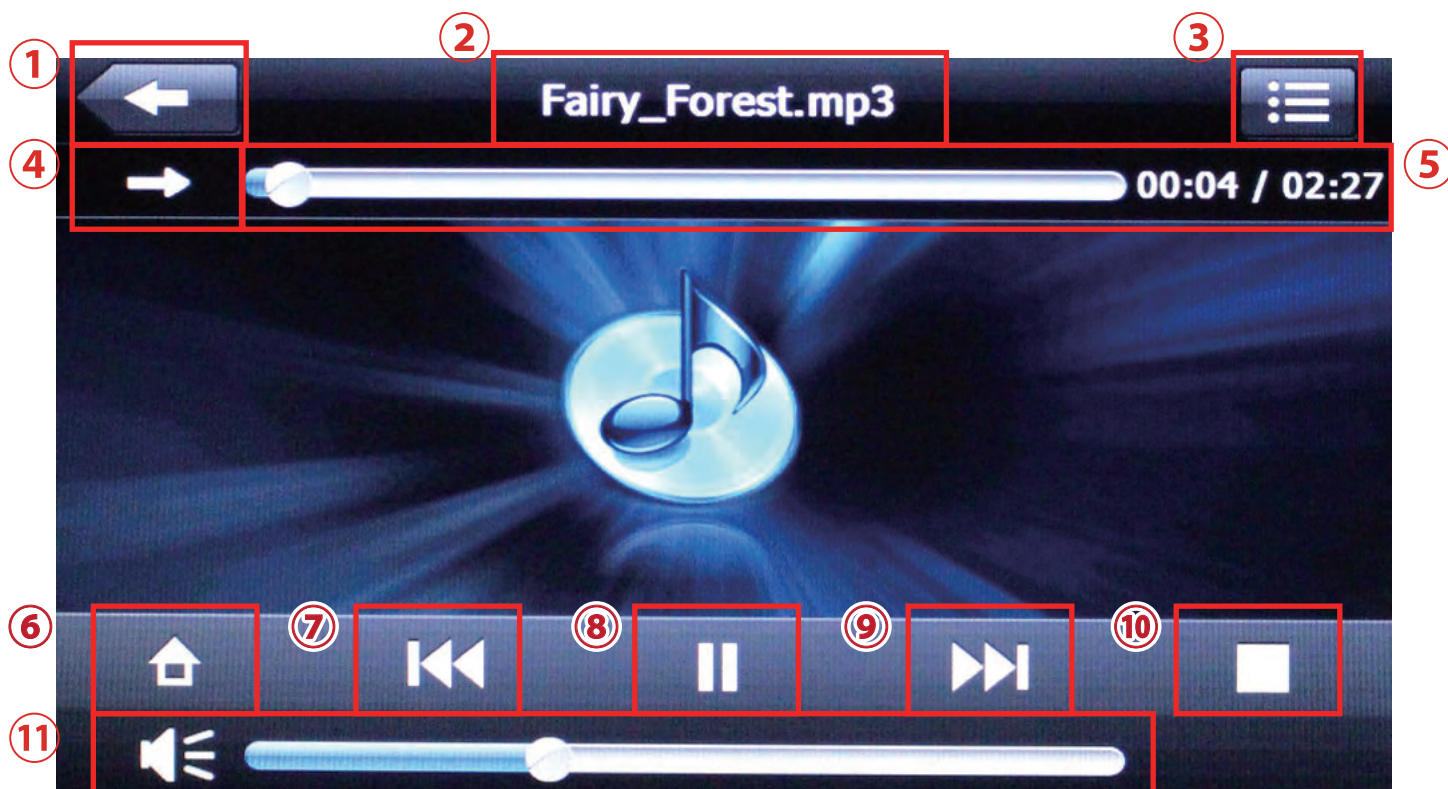










※マルチメディアをご利用いただく場合は必ず、microSD カードをご自身で用意していただき事前にパソコンなどからメディアを保存してください。

※メモリーカード規格については製品仕様 (P73) をご参照ください。

4 マルチメディア②

音楽再生操作画面の機能



①メディアトップへ 戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②曲名	現在再生 / 表示中の曲名を表示します。
③ミュージック選択へ 戻る	ミュージック選択の画面へ戻ります。
④リピート	 リピートなし  ランダム再生  一曲リピート  全曲リピート
⑤再生時間	視聴中の曲の再生時間を表示します。  再生中○をタッチし左右に動かすと任意の場所から再生できます。
⑥ホーム	音楽再生をしたままトップ画面へ戻ります。
⑦前の曲	1つ前の曲を再生します。
⑧再生 / 一時停止	 停止中の音楽を再生します。  再生中の音楽を一時停止します。
⑨次の曲	1つ後の曲を再生します。
⑩停止	再生中の曲を停止します。
⑪音量	○をタッチし左右に動かすと音量を調節 できます。 小  大

4 マルチメディア③

音楽を聴く

microSD カードに保存した音楽を聴くことができます。

①音楽を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

②ミュージックを選択

マルチメディアトップメニューから、「ミュージック」アイコンを選択してタッチしてください。



③聴きたい音楽を選択






保存した音楽ファイルから聴きたい音楽ファイルを選択して音楽を再生できます。選択した音楽は自動で再生されます。



4 マルチメディア④

動画再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②再生中のファイル名	現在再生/表示中のファイル名を表示します。
③動画ファイル選択画面へ戻る	動画ファイル選択の画面へ戻ります。
④再生 / 一時停止	 停止中の動画を再生します。  再生中の動画を一時停止します。
⑤再生時間	視聴中の動画の再生時間を表示します。  再生中○をタッチし左右に動かすと任意の場所から再生できます。
⑥次の動画へ進む	次のファイルの動画を再生します。
⑦再生中の動画	再生中の動画をタッチすると画面の大きさが切り替わります。
⑧音量	○をタッチし左右に動かすと音量を調節できます。 小  大
⑨明るさ調整	画面の明るさを調整できます。○をタッチし左右に動かすと明るさを調節できます。 暗い  明るい

4 マルチメディア⑤

動画を見る

microSD カードに保存した動画を視聴することができます。

①動画を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

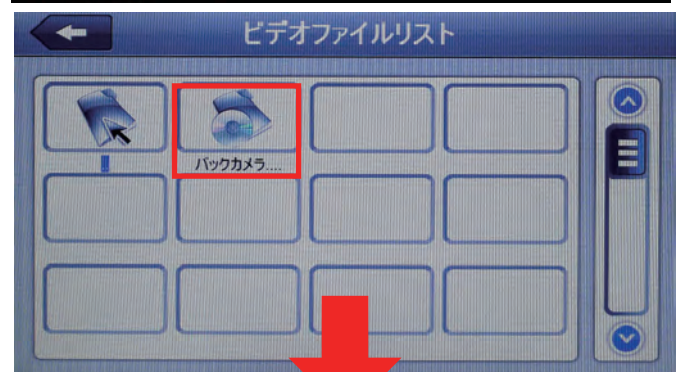
②ビデオを選択

マルチメディアトップメニューから、「ビデオ」アイコンを選択してタッチしてください。



③視聴したい動画を選択

保存した動画ファイルから視聴したい動画ファイルを選択して動画を再生できます。選択した動画は自動で再生されます。



※本製品で再生出来る動画のサイズは標準画質(SD)までです。高画質(HD)には対応していません。

※動画データによっては本製品では再生できないものもあります。

※microSD カードによっては、再生されないこともあります。

4 マルチメディア⑥

静止画再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②表示中のファイル名	現在表示中のファイル名を表示します。
③静止画ファイル選択画面へ戻る	静止画ファイル選択の画面へ戻ります。
④表示中の静止画	選択した画像を表示します。
⑤画像の拡大	表示中の画像を拡大します。
⑥画像の縮小	表示中の画像を縮小します。
⑦画像の回転	表示中の画像を回転して表示させます。
⑧前の画像に戻る	1つ前の画像ファイルへ戻ります。
⑨次の画像へ進む	1つ後の画像ファイルへ進みます。
⑩全画面表示	画像をフルスクリーンで表示します。
⑪スライドショー	ファイルに記録された画像を順番に表示させます。

4 マルチメディア⑦

静止画を再生する

microSD カードに保存した静止画画像を視聴することができます。

①画像を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

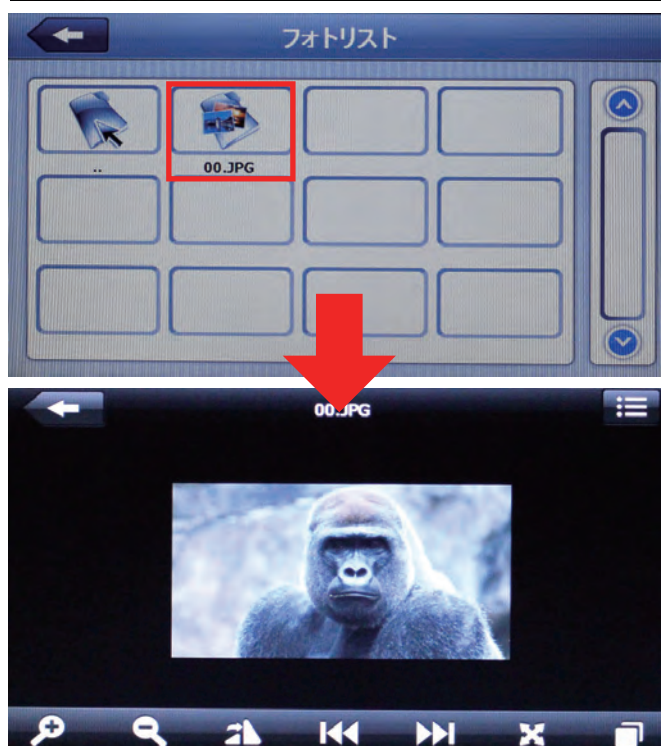
②フォトを選択

マルチメディアトップメニューから、「フォト」アイコンを選択してタッチしてください。



③視聴したい静止画を選択

保存した静止画画像ファイルから視聴したい静止画画像ファイルを選択して画像を再生できます。



4 マルチメディア⑧



マルチメディアトップメニューから「Bluetooth」アイコンを選択してタッチしてください。

Bluetooth メニューの各機能

スマートフォンや iPhone 等と Bluetooth による無線接続が可能。

※Bluetooth は「オープン」状態のみ使用可能



①ダイヤル	接続機器に応じて電話をかけることができます。
②電話帳	接続機器の電話帳を参照できます。
③通話履歴	接続機器の通話履歴を参照できます。
④音楽	接続機器に応じたの楽曲データを再生できます。
⑤SMS	ショートメッセージ機能です。 ※本製品ではご使用いただけません。
⑥DUN	接続機器に応じて、接続機器をモデムにしてネットワークに接続します。 ※本製品ではご使用いただけません。
⑦ペア / コネクト	接続先の機器とペアリング (接続設定) をします。
⑧オープン / クローズ	ナビ本体の Bluetooth の電波状態を表示します。 オープン: 接続可能状態 クローズ: 切断 (接続不可) 状態
⑨戻る	前の画面に戻ります。

4 マルチメディア⑨

Bluetooth の接続 / ペアコネクト画面



①接続状態	接続：接続状態 / 切断：切断状態 接続します：接続処理をしている状態 接続に失敗しました！：接続処理をしたが、何らかの理由で接続できなかった状態
②接続先名	現在ペアリング中の Bluetooth 機器の名前
③デバイス名	本製品（ナビ本体）の名前
④PIN コード	Bluetooth 機器と接続する際に必要な本製品（ナビ本体）のパスワード デフォルト：1234
⑤ペアリング history	過去にペアリングを行ってデバイス情報を削除していない接続先名の一覧
⑥接続します / 切断	接続先名に表示される Bluetooth 機器と、回線の接続や切断をします。 接続します表示：ペアリングが切断状態 切断表示：ペアリングが接続状態
⑦検索	Bluetooth 機器と新しくペアリングをします。
⑧名前を変更します。	デバイス名の変更をします。
⑨PIN を変更します。	PIN コードの変更をします。
⑩自動接続	回線切断後、接続先名の Bluetooth 機器と自動で再接続をします。
⑪自動応答	電話がかかって来た時、手動操作をしなくても自動で通話状態になります。
⑫戻る	前の画面に戻ります。

4 マルチメディア⑩

■Bluetooth 使用前に下記をご確認ください。

- ・ Bluetooth は「オープン」状態のみ使用可能。
- ・ 本機能は iPhone/ スマートフォンのみ使用可能。
- ・ 接続や検知は少し時間がかかる場合がある。
- ・ 画面中央の検索マーク（ぐるぐる）表示中は触らない。
- ・ 早すぎる操作や何度も連打する操作をすると画面が固まる場合がある。固まった場合は再度動くまで少し時間をおいてから操作する。
- ・ ペアリングを行う際は Bluetooth 接続機器とナビ本体を半径 20 cm まで近づける。

機器と接続（ペアリング）：初めて

【ナビ本体操作】

- ① Bluetooth メニュー「ペア/コネクト」アイコンをタッチ
- ② 「ペア/コネクト」画面の「検索」アイコンをタッチ

【Bluetooth 機器操作】

- ③ Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）の Bluetooth をオン（検索可能）状態にする

※ Bluetooth 対応機器の接続方法についてはそれぞれの機器の取扱説明書等を参照してください。

1 例：Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）「設定」→「Bluetooth」をオン

【ナビ本体操作】

- ④ 「検索」画面の「再検索」アイコンをタッチ
- ※ 現在接続可能な Bluetooth 対応機器を検索します。
※ 表示されるまでに時間がかかる場合があります。

- ⑤ 「検索」画面に接続可能な Bluetooth 機器の一覧が出るので、使用したい接続機器名をタッチ（選択されている名前は青く表示）

- ⑥ 「検索」画面の「接続します」アイコンをタッチ

【Bluetooth 機器操作】

- ⑦ Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）で以下操作を行う

1. PIN に「1234」を入力
2. 接続を決定する
3. 対応機器表示の「GPSsystem」が接続状態であることを確認

【ナビ本体操作】

- ⑧ ナビ本体右上矢印をタッチして前の画面へもどる
- ⑨ 「ペア/コネクト」画面の接続先名が表示され「接続」になっていることを確認
- ⑩ ペアリング（紐付け）完了



【Bluetooth 機器操作】 ③番操作



【Bluetooth 機器操作】 ⑦番操作



4 マルチメディア⑪

機器と接続 (ペアリング) : 2 台以降を接続

※登録は複数台可能ですが通信がオープンになるのは1台のみ

【ナビ本体操作】

- ①Bluetoothメニュー「ペア/コネクト」アイコンをタッチ
- ②「ペア/コネクト」画面の「切断」アイコンをタッチして、現在接続中の機器 (1 台目) と一時的にペアリングを解除する
※切断した時点ではペアリングが切れただけで (1 台目) の情報は残っている状態です。
※切断アイコンタッチ後、接続表示 (画面上部黄色い文字) が「切断」になっていることを確認してください。
※自動接続にチェックが入っていると切断できません。
- ③「ペア/コネクト」画面の「検索」アイコンをタッチ

【Bluetooth 機器操作】

- ④Bluetooth 対応機器 (iPhone/ スマートフォン等) の Bluetooth をオン (検索可能) 状態にする
※Bluetooth 対応機器の接続方法についてはそれぞれの機器の取扱説明書等を参照してください。

1 例: Bluetooth 対応機器 (iPhone/ スマートフォン等) 「設定」→「Bluetooth」をオン

【ナビ本体操作】

- ⑤「検索」画面の「再検索」アイコンをタッチ
※現在接続可能な Bluetooth 対応機器を検索します。
※表示されるまでに時間がかかる場合があります
- ⑥「検索」画面に接続可能な Bluetooth 機器の一覧が出るので、使用したい接続機器名 (2 台目) をタッチするか▲▼で選択 (選択されている名前は青く表示)
- ⑦「検索」画面の「接続します」アイコンをタッチ

【Bluetooth 機器操作】

- ⑧Bluetooth 対応機器 (iPhone/ スマートフォン等) で以下操作を行う
 1. PIN に「1234」を入力
 2. 接続を決定する
 3. 対応機器表示の「GPSsystem」が接続状態であることを確認

【ナビ本体操作】

- ⑨ナビ本体右上矢印をタッチして前の画面へもどる
- ⑩「ペア/コネクト」画面の接続先名が表示され「接続」になっていることを確認
- ⑪2 台目のペアリング (紐付け) 完了



【Bluetooth 機器操作】 ④番操作



【Bluetooth 機器操作】 ⑧番操作



4 マルチメディア⑫

ペアリング後の接続

ナビ本体とBluetooth 対応機器のペアリングが完了した後に、スマートフォンを持ってお車を離れる等 Bluetooth 受信範囲外に出た場合は再接続処理をする必要があります。

手動：「ペア/コネクト」画面で「接続します」をタッチ
自動：「ペア/コネクト」画面の「自動接続」をタッチしてチェックを入れる

※自動接続にチェックを入れている場合、ペアリングしている機器が受信範囲内に入ると自動で接続します。2台目の登録やペアリングを切断する場合はタッチしてチェックマークを外してください。



接続（ペアリング）先を切り替える：2台以上使用の場合

- ①「ペア/コネクト」アイコンをタッチ
- ②「ペア/コネクト」画面の「ペアリング history」アイコンをタッチ
- ③「ペアリング history（ペアリングの歴史）」画面に、過去にペアリングを行ってデバイス情報を削除していない接続先名の一覧が表示されるので、使用したい接続先をタッチするか▲▼で選択
(選択されている名前は青く表示)

- ④「接続します」アイコンをタッチ
- ※現在ペアリングしている接続先を選択している場合「接続します」アイコンは暗転して触れません。

※接続が失敗になる場合、接続先 (iPhone/ スマートフォンなど) の Bluetooth がオンになっているか確認してください。オフになっている場合はペアリングできません。

※一度接続先 (iPhone/ スマートフォンなど) の Bluetooth がオフになった場合は、再度 Bluetooth 対応機器 (iPhone/ スマートフォンなど) で PIN コード「1234」を打ち込んでいただく場合があります。

- ⑤「ペア/コネクト」画面の接続先名に、選択した Bluetooth 対応機器の名前が表示されて「接続」状態になっていることを確認



4 マルチメディア⑬

機器との接続（ペアリング）を解除

1. ペアリングの信号のみを切断する

- ①「ペア/コネクト」アイコンをタッチ
 - ②「ペア/コネクト」画面の接続先名が表示され「接続」になっていることを確認
 - ③「ペア/コネクト」画面の「切断」アイコンをタッチして接続状態が「切断」になることを確認
- ※再接続する場合は「接続します」アイコンをタッチしてください。

Bluetooth 接続中のアイコン表示：切断

Bluetooth 切断中のアイコン表示：接続します

※自動接続にチェックを入れている場合、ペアリングしている機器が受信範囲内に入ると自動で接続します。2 台目の登録やペアリングを切断する場合はタッチしてチェックマークを外してください。



2. 登録情報自体を削除する（ペアリング情報を初期化）

- ①「ペア/コネクト」アイコンをタッチ
- ②「ペア/コネクト」画面の接続先名が表示されていることを確認
- ③「ペア/コネクト」画面の「ペアリング history」アイコンをタッチ
- ④「ペアリング history（ペアリングの歴史）」画面に、過去にペアリングを行ってデバイス情報を削除していない接続先名の一覧が表示される
- ⑤削除したい接続先名をタッチするか、▲▼で選択して（選択されている名前は青く表示）「削除」アイコンをタッチ

※すべての接続先情報を一括削除する場合は「片付けます」アイコンをタッチしてください。

※この操作はナビ本体に残っている Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）のペアリング情報を削除する操作のため、Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）にナビ本体の情報が残っている場合があります。

※Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）からナビ本体の情報を削除する場合は Bluetooth 対応機器（iPhone/ スマートフォン等）で操作してください。

※Bluetooth 対応機器のデバイス削除の方法についてはそれぞれの機器の取扱説明書等を参照してください。



4 マルチメディア⑭

ペアリングに関する Q&A

Q. Bluetooth メニュー画面の一部が暗転していたり反応しない

A. (1) ペアリングが切断状態の場合、「DUN」「ペア/コネクト」「オープン/クローズ」以外は暗転して操作できません。

※ペアリングが正常にできていてもスマートフォンや iPhone のアクセス許可を不可にした場合は「電話帳」や「通話履歴」等、一部機能は使用できません。

(2) 「オープン/クローズ」がオープン (緑のチェックマーク) になっているか確認してください。クローズ (赤の × マーク) の場合 Bluetooth メニュー右下の「オープン/クローズ」をタッチしてオープン状態にしてください。

Q. ペアリングが接続されたかわからない

A. 「ペア/コネクト」画面で接続先の表記を確認してください。「接続」になっている場合はペアリング接続が完了している状態です。

Q. 「ペア/コネクト」画面では接続先の表記は「接続」になっているのに「Bluetooth メニュー」画面が白黒表示になる

A. 一度「Bluetooth」メニュー画面から「マルチメディア」画面に戻っていただき再度 Bluetooth メニュー画面に戻ってください。上記操作で改善がない場合は「ペア/コネクト」画面で接続先の表記が「切断」になっていないか確認してください。

Q. 「ペア/コネクト」画面の「接続します」アイコンが反応しない

A. 複数の Bluetooth 機器をご使用の場合、「ペア/コネクト」画面の「接続します」アイコンは反応しません。「ペアリング history (ペアリングの歴史)」画面から、接続先を選択し、「ペアリング history (ペアリングの歴史)」画面の「接続します」からペアリングを行ってください。

Q. 今まで接続出来ていたものが接続できなくなった

A. Bluetooth 機器 (iPhone/ スマートフォン等) の Bluetooth がオン状態か確認してください。接続失敗が続く場合は Bluetooth 機器と本体それぞれのデバイスを削除して【機器と接続 (ペアリング) : 初めて】の手順を最初から試してください。

Bluetooth 機器から GPSsystem のデバイスを削除
ナビ本体から Bluetooth 機器名を削除

Q. 車やワイヤレスイヤホンと接続できない

A. PIN コードが入力できない機器とは接続できません。

Q. 「ペア/コネクト」画面に接続した機器の名前が反映されない

A. 一度別の画面に切り替えてから、「ペア/コネクト」画面に戻ってください。

Q. 「ペア/コネクト」画面の「切断」ができない

A. 「ペア/コネクト」画面の左下の「自動接続」にチェックが入っていると、一度切断しても自動で再接続します。「自動接続」をタッチしてチェックを外してください。

※ 小さいアイコンなので押せていない場合があります。反応悪い場合は何度かタッチしてください。(素早く連打するとフリーズすることがあります。一度押したら 3 秒ほど間隔を開けてください。)

Q. 音量が小さい

A. Bluetooth 機器 (iPhone/ スマートフォン等) とナビ本体両方の音量を上げてください。

ナビ操作：メインメニュー「設定」→「ボリューム設定」→ボリューム操作…P66 参照

4 マルチメディア⑮

Bluetooth の各機能

Bluetooth 機能は「オープン」状態の時のみ使用が可能です。

「オープン/クローズ」アイコンをタッチして状態を切り替えてください。

また一部機能は、ペアリングの接続がないと使用できません。(使用不可のアイコンは暗転表示)

クローズ状態



オープン状態 (ペアリング済み)



ダイヤル

ナビの大きな画面で番号を入力し、電話をかけたり、かかってきた電話をナビの操作で受電することが可能です。

- ① 番号表示
- ② 電話をかける
- ③ 電話を切る
- ④ 音量調節
- ⑤ 1 字消す
- ⑥ 番号を入力

電話がかかってきた時は、呼び出し画面が表示され、画面上部に電話をかけてきた人と電話番号が表示されます。

(電話帳に登録がない場合は電話番号のみ表示)

答え

電話にでる

電話を切ります

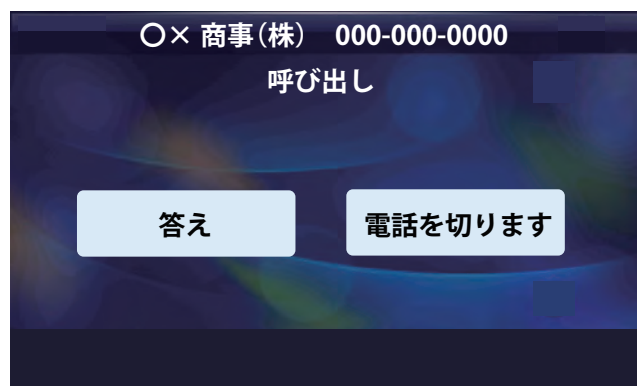
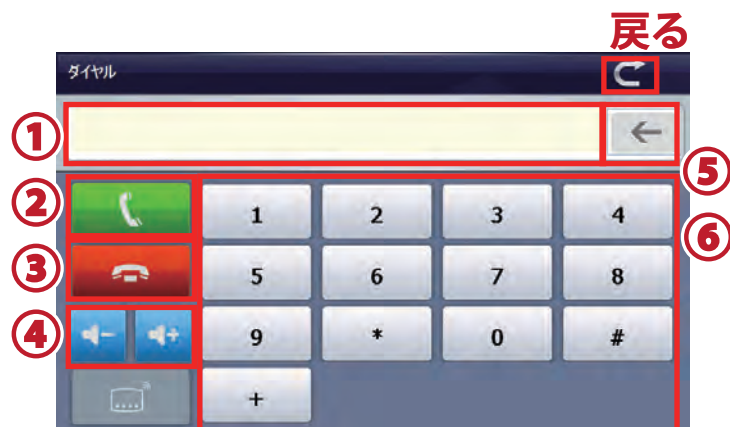
電話を切る

「ペア/コネクト」画面の「自動応答」にチェックを入れている場合、かかってきた電話を自動で通話応答(答え)状態に切り替えます。

※自動応答は「ペア/コネクト」画面の「自動応答」をタッチして切り替え可能です。

音が小さい場合は、ナビ本体の音量と Bluetooth 接続機器(スマートフォンや iPhone 等)の音量、どちらの音量もあげてください。

また、実際に使用する前に、停車状態で通話テストなどを行い、音量確認をしてください。



4 マルチメディア①⑥

ダイヤル

※ダイヤル機能を使用し、通話する際に集音マイクから距離がある場合は、通話音声小さく聞き取りづらい場合があります。

通話用の集音マイクはナビ本体の電源ランプ下にあります。



電話帳

接続中の Bluetooth 機器に登録されているアドレスを確認できます。

選択中の番号は青く表示されます。

同期

アドレス情報
を取得する

ダイヤル

電話をかける

※ペアリングの際、一部のアクセス権限に許可を与えない設定をした場合（メディアのみ許可等）は、アドレス帳や通話履歴の情報等は表示されません。

※ペアリング後にアドレス帳等の情報を反映させる場合は、接続中の Bluetooth 機器のアクセス権限を許可に変更してから、ナビ本体の「電話帳」画面で「同期」アイコンをタッチしてください。

※Bluetooth 対応機器の接続方法についてはそれぞれの機器の取扱説明書等を参照してください。

1 例:Bluetooth 対応機器 (iPhone/ スマートフォン等)「設定」→「Bluetooth」→「GPSSystem」名前や詳細のアイコンをタッチ→「連絡先の同期 / 共有」にチェック

通話履歴

接続中の Bluetooth 機器の通話履歴を確認できます。

選択中の番号は青く表示されます。

- ① 着信履歴
- ② 発信履歴
- ③ 不在着信
- ④ 選択中の番号に電話をかける
- ⑤ アドレス帳を参照

選択中 / 登録件数 戻る



現在のページ 戻る



4 マルチメディア①⑦

音楽

接続中の Bluetooth 機器で再生した、楽曲や映像音声をナビ本体で再生できます。

- ① 接続状態
- ② 音量を下げる
- ③ 現在の音量
- ④ 音量を上げる
- ⑤ 楽曲の再生 / 一時停止
- ⑥ 一曲前の楽曲に戻る
- ⑦ 一曲次の楽曲に進む
- ⑧ 楽曲の停止

※ナビ本体の音楽再生 (A2DP) 画面で接続状態が「接続」または「レディー」状態であることを確認してください。

- ① 接続先の Bluetooth 機器で再生する楽曲を指定して「再生」する。
(プレイリストを再生する場合はプレイリスト内のいずれかの楽曲を選択する)
- ② 接続先の Bluetooth 機器のメディア音量とナビ本体の音量を上げ、音量を調節する。
- ③ 本体で再生 / 停止等の楽曲操作ができます。

※Bluetooth 機器 (iPhone/ スマートフォン等) がインターネット接続をしている場合、インターネット配信の動画音声 (例: YouTube 等) 再生も可能です。(音声のみ)

インターネット配信の動画音声を流す場合は iPhone/ スマートフォン等 Bluetooth 機器でご契約の通信料がかかりますのでご注意ください。通信料詳細はご契約のサービス通信会社にご自身でご確認ください。

音が小さい場合は、ナビ本体の音量と Bluetooth 接続機器 (スマートフォンや iPhone 等) の音量、どちらの音量もあげてください。

SMS

ショートメッセージ機能です。※本製品ではご使用いただけません。

DUN

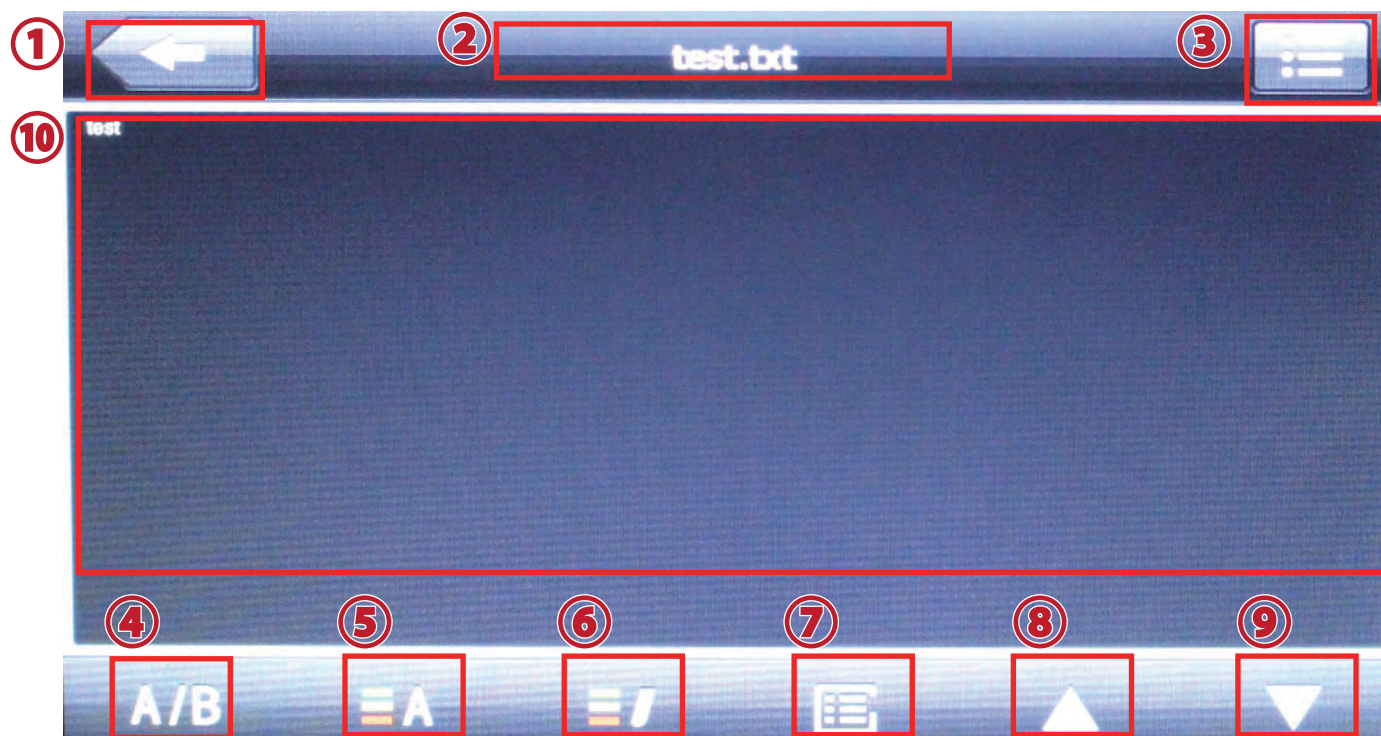
接続機器に応じて、接続機器をモデムにしてネットワークに接続します。

※本製品ではご使用いただけません。



4 マルチメディア⑱

電子書籍再生操作画面の機能



①メディアトップへ戻る	マルチメディアのトップ画面へ戻ります。
②表示中のファイル名	現在表示中のファイル名を表示します。
③電子書籍ファイル 選択画面へ戻る	電子書籍ファイル選択の画面へ戻ります。
④文字サイズの変更	文字の太さ・文字サイズを変更します。
⑤色の変更	文字・選択・背景の色を変更します。
⑥ブックマーク登録	選択箇所をブックマークとして登録します。
⑦ブックマークリスト	登録したブックマークのリストです。選択すると選択箇所から再生します。
⑧戻る	前へ戻ります。
⑨進む	先へ進みます。
⑩テキスト	表示テキストです。2回素早くタッチすると画面が拡大します。再度2回素早くタッチすると操作画面に戻ります。

※画像ファイル、漫画などの再生はできません。

4 マルチメディア⑱

電子書籍を再生する

①電子書籍を保存した microSD カードをいれる

ナビ本体側面のmicroSDカードスロットに microSDカードを挿入してください。

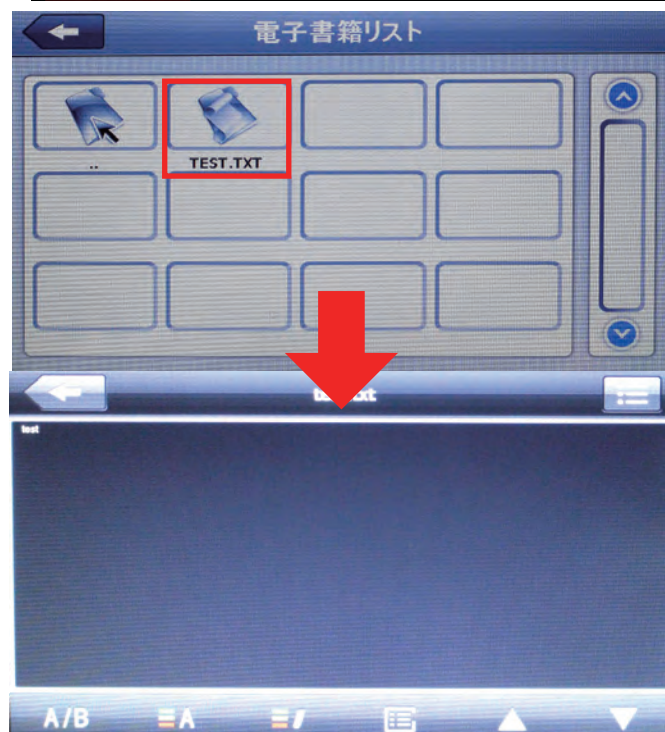
②電子書籍を選択

マルチメディアトップメニューから、「電子書籍」アイコンを選択してタッチしてください。



③読みたい電子書籍を選択

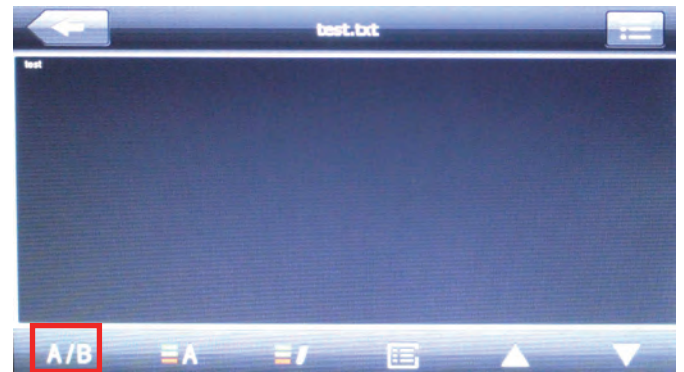
保存した電子書籍ファイルから読みたい電子書籍ファイルを選択して電子書籍を再生してください。



4 マルチメディア⑳

文字の太さ変更する

①フォント設定メニューを開く
電子書籍トップメニューから、「フォント設定メニュー」アイコンを選択してタッチしてください。



②文字の太さを変更する

フォント設定メニューの「Bold」アイコンをタッチして太字の ON/OFF を切り替えてください。



文字のサイズを変更する

文字のサイズを変更する

左右の矢印のアイコンをタッチして文字サイズを変更できます。



- ⏪ 文字を小さくします。最小：5pt
- ⏩ 文字を大きくします。最大：30pt

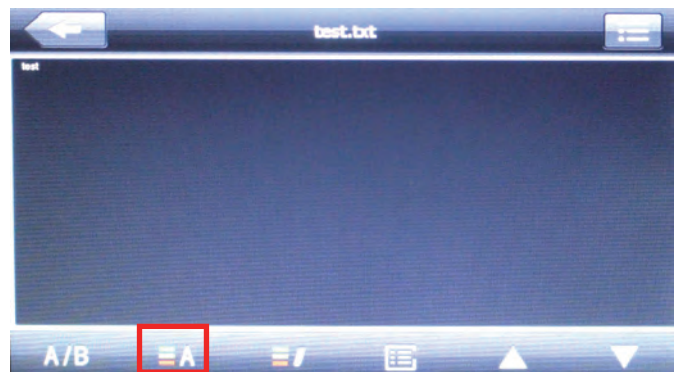



4 マルチメディア②①

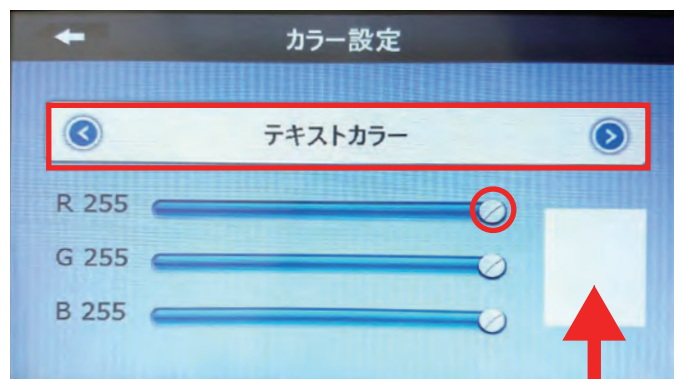
色を変更する

カラー設定メニューを開く
電子書籍トップメニューから、
「カラー設定メニュー」アイコンを選択
してタッチしてください。

上部メニュー変更：
左右の矢印をタッチ  
R：赤　　G：緑　　B：青




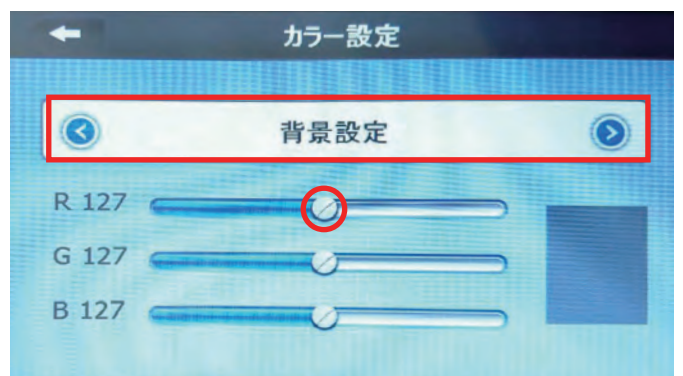
テキストカラーの色を変更する
上部メニューが「テキストカラー」で
あることを確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。




実際の色

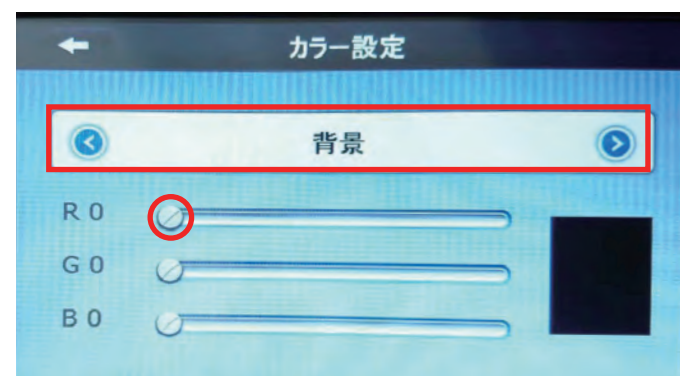
テキスト選択時の色を変更する
(ブックマーク登録をする際の長押し
時に表示される色)

上部メニューが「背景設定」で
あることを確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。



背景の色を変更する

上部メニューが「背景」であることを
確認してください。
RGB それぞれのバーの  をタッチ
しながら左右に移動させるとお好み
の色に変更できます。



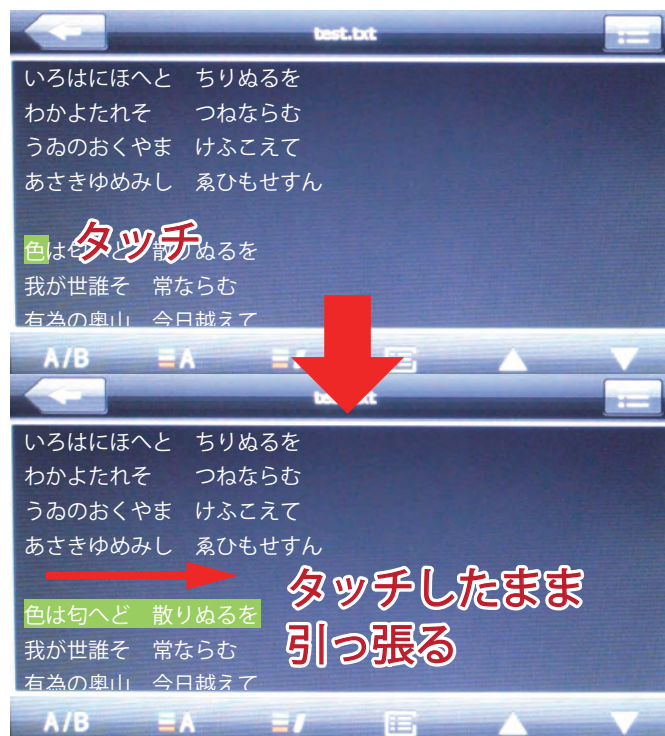
4 マルチメディア②

ブックマーク 1

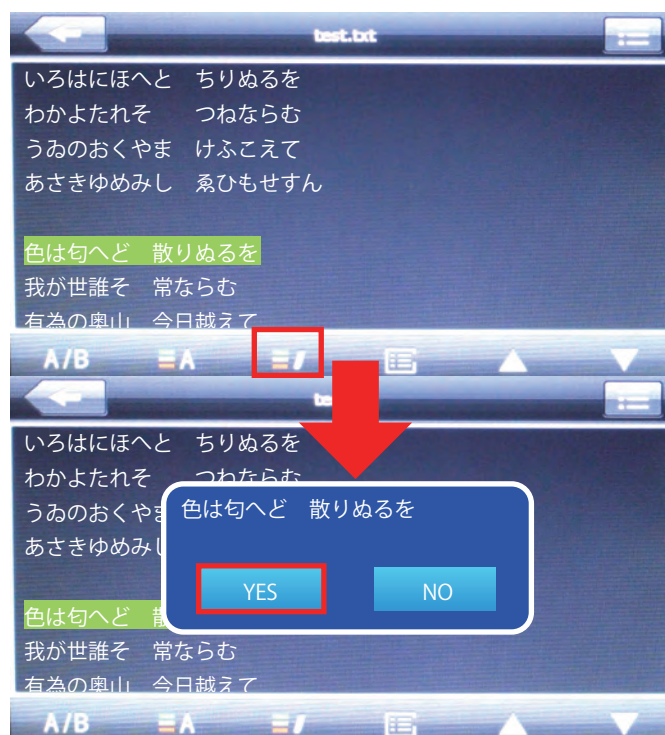
ブックマークを登録する

①現在表示されているテキストからブックマークをしたい箇所を長押しタッチして選択します。

※長押しをしたまま文字に沿って引っ張ると範囲を指定できます。



②テキスト選択状態のまま「ブックマーク登録アイコン」をタッチしてください。選択したテキストで間違っていない場合はそのまま「YES」アイコンをタッチするとブックマークの登録が完了します。

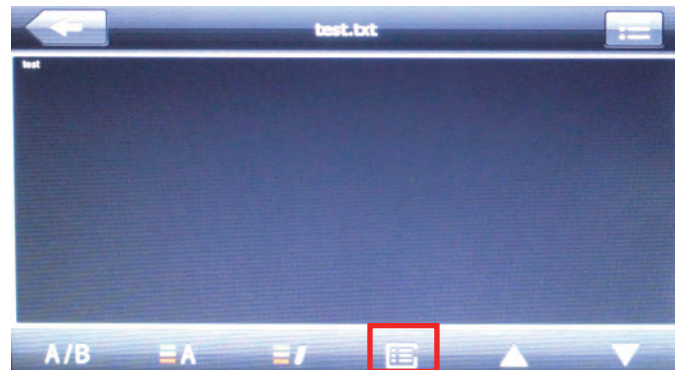


4 マルチメディア⑳


ブックマーク 2

ブックマークから再生する

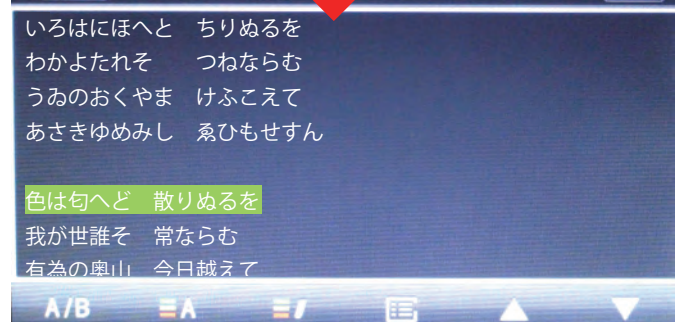
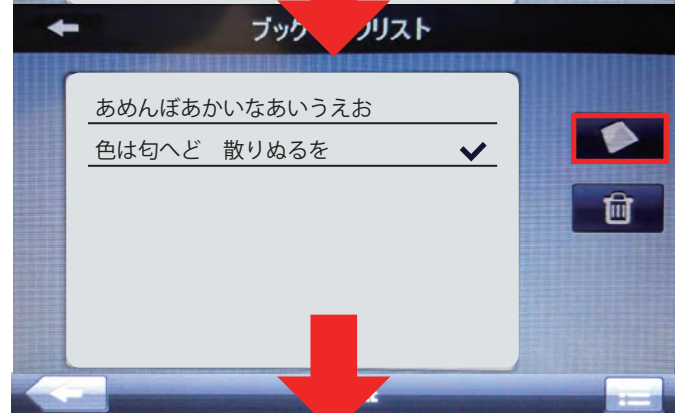
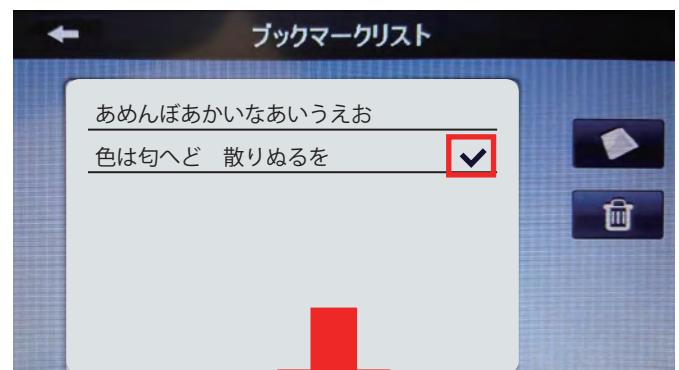
①電子書籍トップメニューから、「ブックマークリスト」アイコンを選択してタッチしてください。




②ブックマークリストから再生したいテキストをタッチして選択してください。

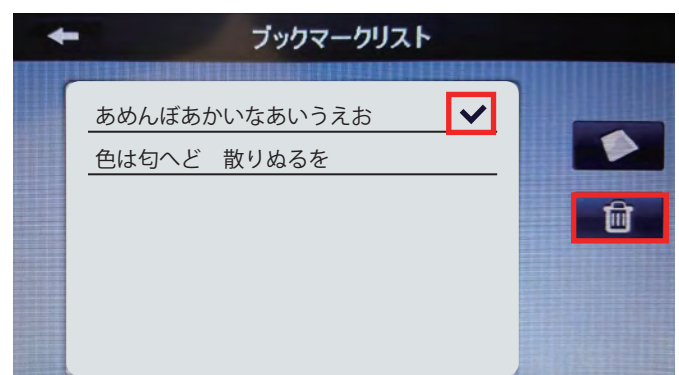
再生したいテキストの横にレ点がついていることを確認し画面右側の「ブック」アイコン  をタッチしてください。

選択したテキストが再生されます。



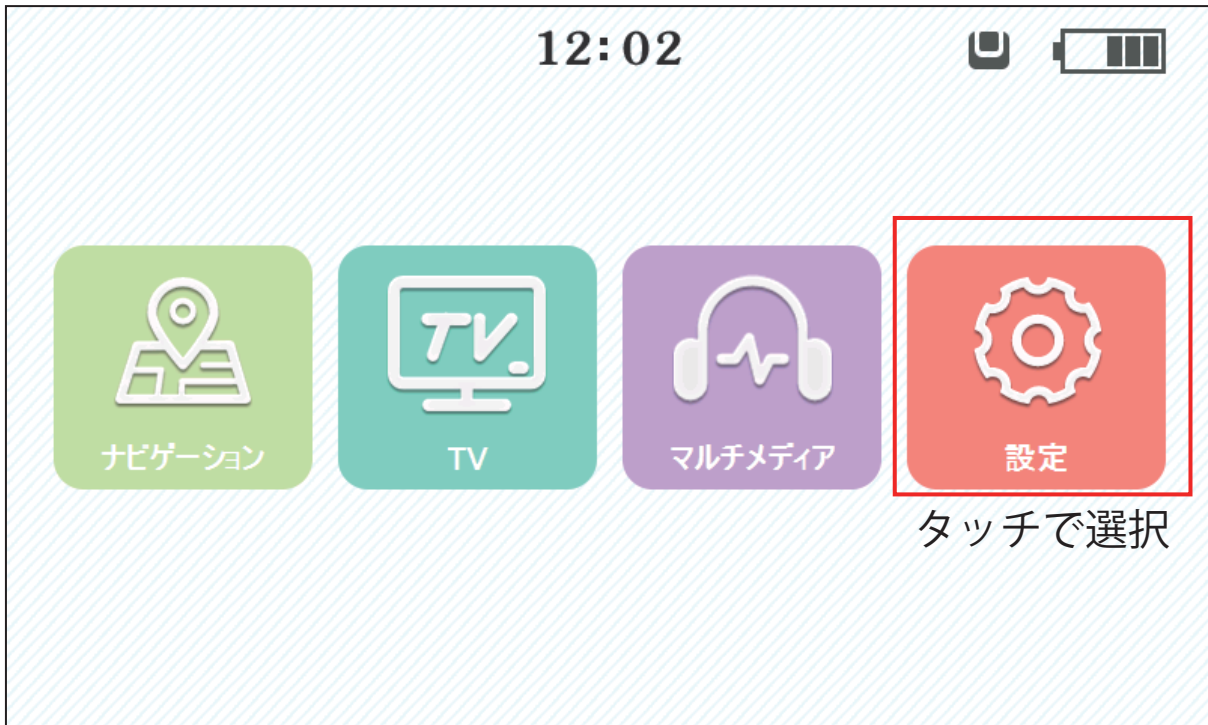
ブックマークを削除する

ブックマークリストから削除したいテキストの横にレ点がついていることを確認し画面右側の「削除」アイコン  をタッチしてください。

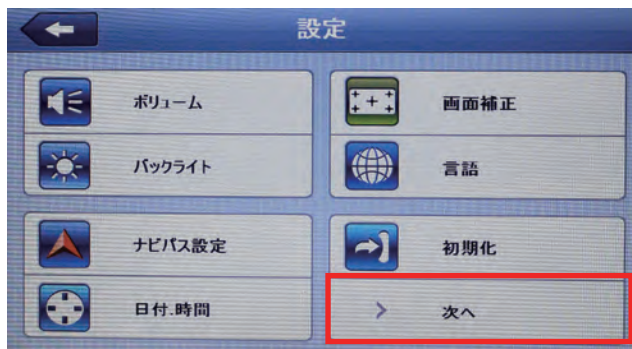


5 設定①

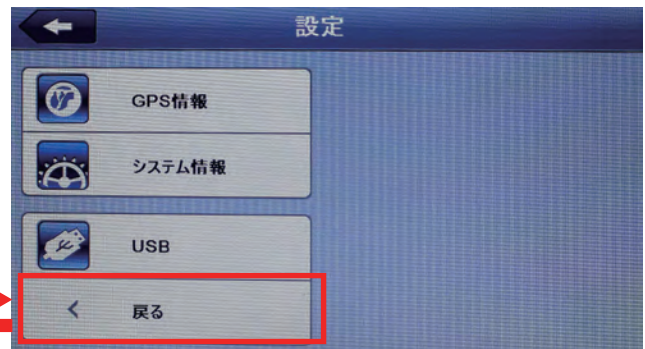
メインメニュー画面から「設定」アイコンを選択してタッチすると本製品の詳細設定を変更することができます。



設定トップメニュー A



設定トップメニュー B



ボリューム	操作音 / 音声再生時の音量の設定を変更できます。
バックライト	画面の明るさ/バックライト消灯設定を変更できます。
画面補正	画面タッチの感度・位置の設定を変更できます。
言語	言語の設定を変更できます。
ナビパス設定	起動時のナビ立上げ設定を変更できます。
初期化	設定を工場出荷時の状態に戻します。
日付・時間	日付・時間・使用地域の設定を変更できます。
GPS 情報	GPS の受信状況を確認できます。
システム情報	本製品のシステムリソースの確認できます。

5 設定②

設定トップメニューA

ボリューム設定

設定トップメニュー左上の「ボリューム」アイコンをタッチしてボリュームの詳細メニューを開いてください。

ボリューム

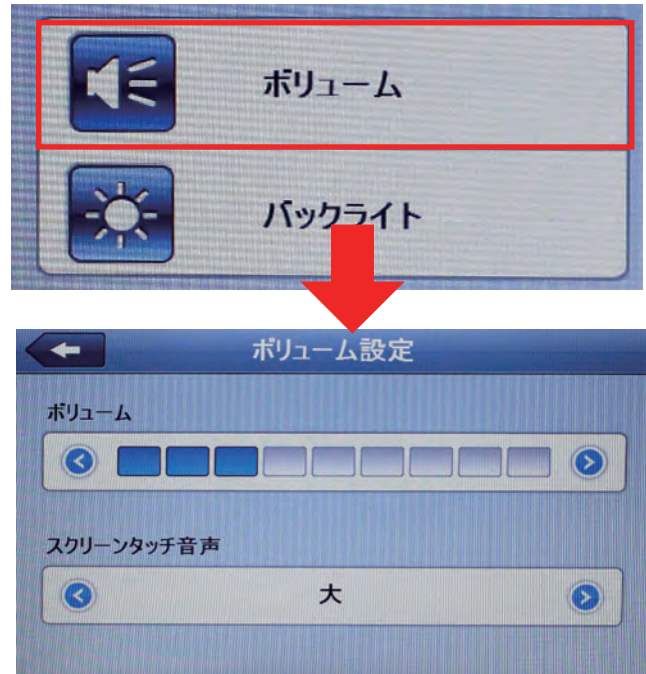
音声案内やメディアの音量を変更できます。左右の矢印のアイコンをタッチすると音量を変更できます。

- ◀ 音量を下げます。
- ▶ 音量を上げます。

スクリーンタッチ音声

画面操作時のタッチ音の大きさを変更できます。

大 ⇄ 小 ⇄ OFF



バックライト設定 1

設定トップメニュー左上の「バックライト」アイコンをタッチしてボリュームの詳細メニューを開いてください。

明るさ設定

画面の明るさを変更できます。左右の矢印のアイコンをタッチして明るさを変更できます。

- ◀ バックライトの光量を下げます。
- ▶ バックライトの光量を上げます。





5 設定③

設定トップメニューA

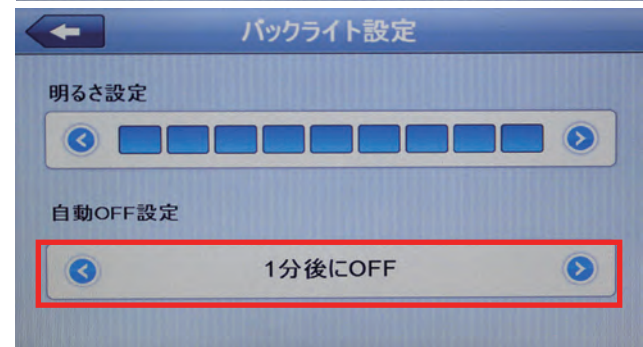
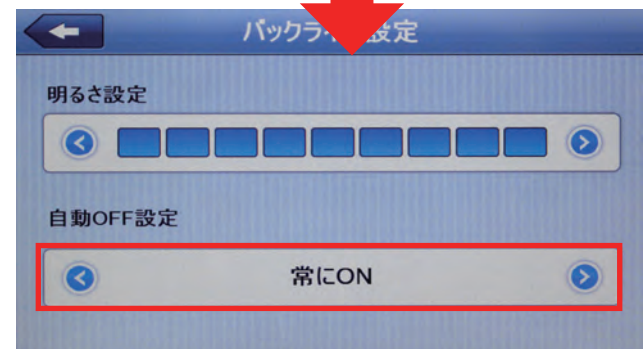
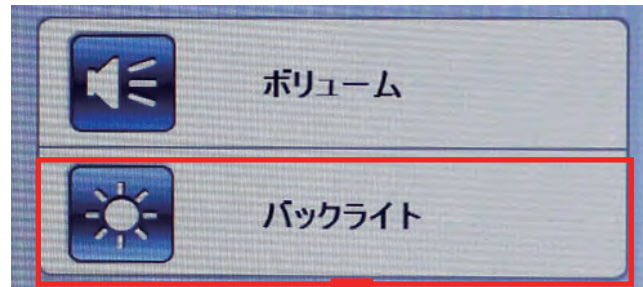
バックライト設定 2

自動 OFF 設定

バックライト消灯時間の設定を変更できます。

左右の矢印のアイコン   をタッチすると変更できます。

操作がないときにバックライトが消灯することで消費電力を節約することができます。



常に ON	バックライト消灯なし
10 秒後にOFF	10 秒間画面操作がないとバックライトが消灯します。
30 秒後にOFF	30 秒間画面操作がないとバックライトが消灯します。
1 分後にOFF	1 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。
2 分後にOFF	2 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。
3 分後にOFF	3 分間画面操作がないとバックライトが消灯します。

5 設定④

設定トップメニューA

画面補正

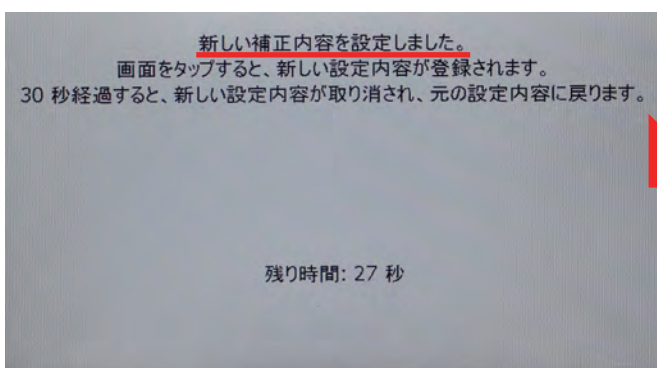
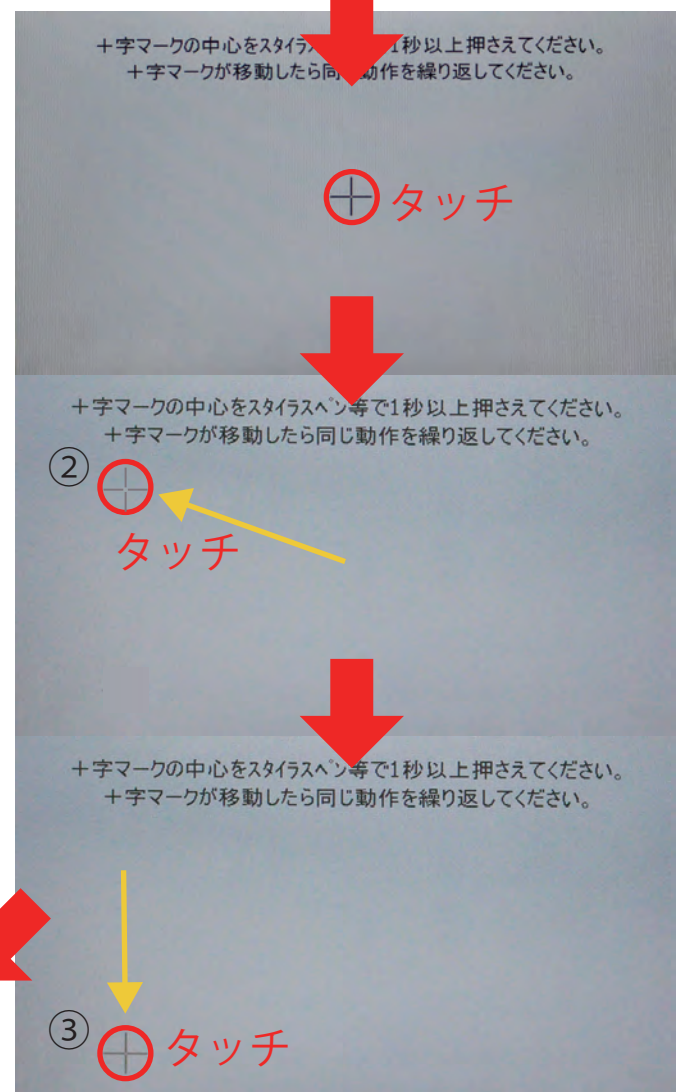
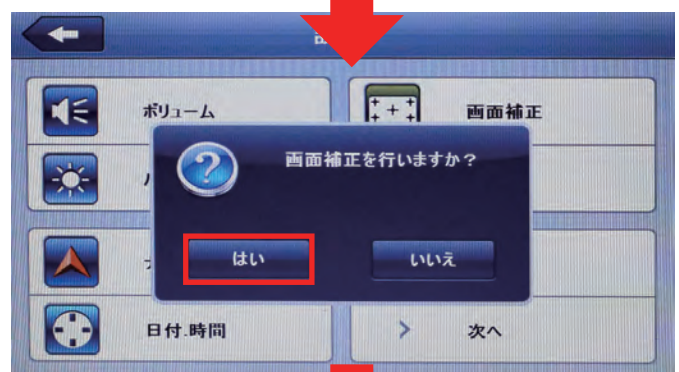
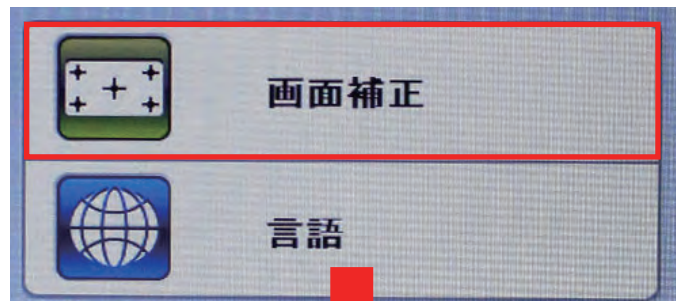
設定トップメニュー右上の「画面補正」アイコンをタッチしてください。

「画面補正を行いますか？」と表示されたら「はい」をタッチしてください。

画面中央に表示される十字マークの中央をタッチしてください。タッチするたびに十字マークが画面四隅に移動するので(中央→左上→左下→右下→右上)追いかけてながら十字マーク中央をタッチしてください。

※調整が完了しない場合、十字マークが画面中央に戻ります。再度中央から十字マークを追いかけてください。

調整が完了すると「新しい補正内容を設定しました」と表示されるので30秒以内に画面を一度タッチして補正内容を保存してください。(30秒以内に操作がない場合は設定がキャンセルされます)



5 設定⑤

設定トップメニューA

言語

表示される言語を変更できます。設定トップメニュー右上の「言語」アイコンをタッチして言語詳細メニューを開いてください。

表示したい言語をタッチして右側にレ点がいっていることを確認してください。

※ナビ、TVの表示変更はそれぞれ「ナビ設定」「TV設定」で変更してください。



ナビパス設定

ナビゲーションパス

ナビゲーションを動作させるためのシステムを設定する機能です。触らないでください。

設定トップメニュー左下の「ナビパス設定」アイコンをタッチしてナビパス設定の詳細メニューを開いてください。

ナビゲーションソフト自動起動

本体電源起動時にメインメニューを経由せず、自動でナビゲーション画面へ進む機能です。右側アイコンをタッチして ON/OFF を切り替えてください。

ON | OFF



5 設定⑥

設定トップメニューA

日付・時間

※到着時、日本時間で設定済みです。ご自身で設定いただく必要はありません。

本製品で表示される日付と時間の設定ができます。設定トップメニュー左下の「日付・時間」アイコンをタッチして日付・時間メニューを開いてください。

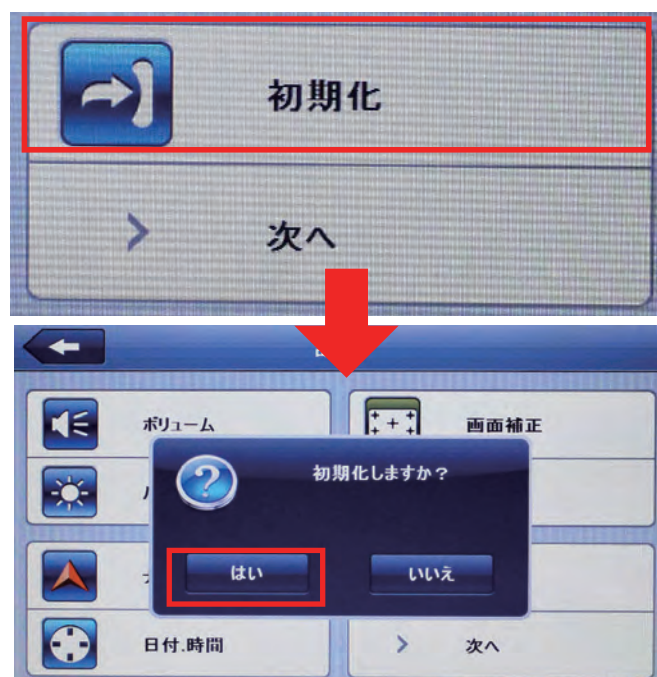
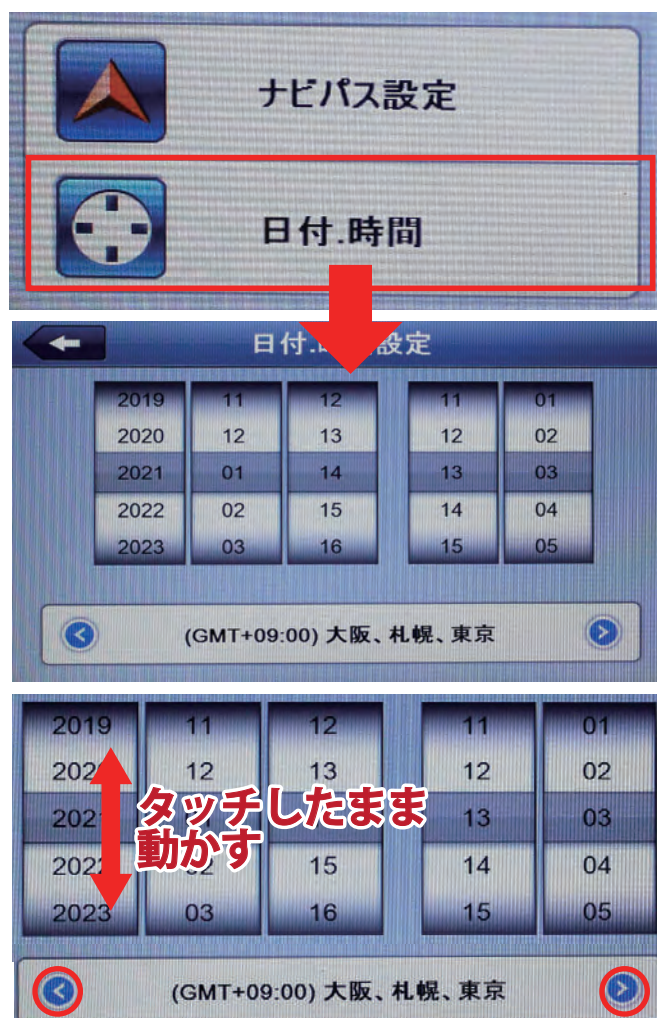
年/月/日/時/分

のそれぞれの項目でタッチしたまま上下に動かすと任意の日時に変更することができます。世界各国の標準時間に合わせる場合は画面下部の矢印アイコン(◀ ▶)で設定を行ってください。設定が完了したら、左上「戻る」アイコンをタッチしてください。※ナビがGPSを受信すると、時刻は自動的に現地・現時刻に補正されます。

初期化

本体の設定を工場出荷時の状態に戻します。設定トップメニュー右下の「初期化」アイコンをタッチして初期化メニューを開いてください。

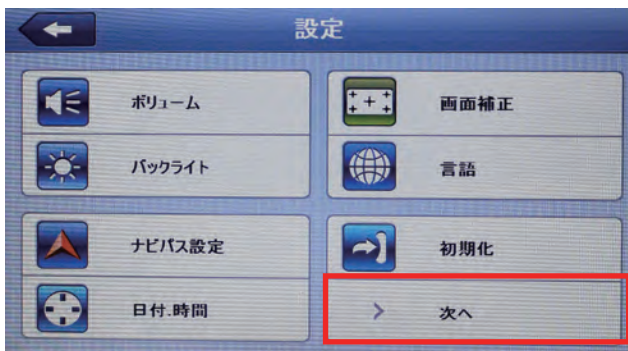
確認画面が開きます。初期化する場合は「はい」を選択してください。キャンセルする場合は「いいえ」を選択してください。



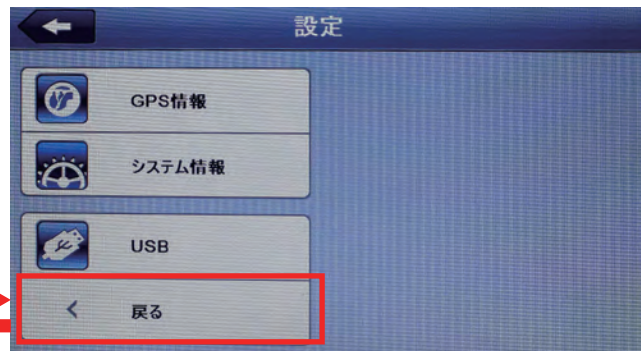
5 設定⑦

設定トップメニューB

設定トップメニューA



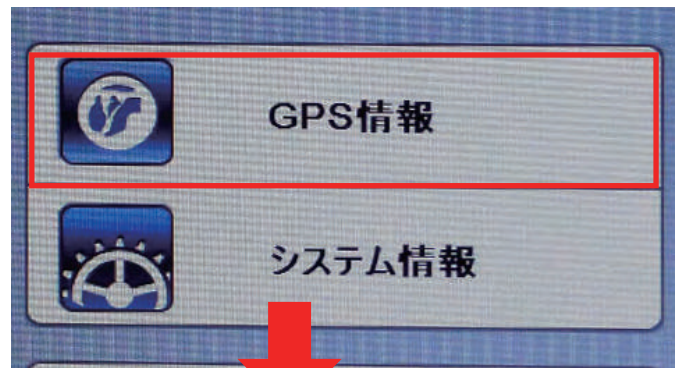
設定トップメニューB



設定トップメニューの「次へ」アイコンをタッチして、設定トップメニューBへ画面を切り替えてください。

GPS 情報

GPS の受信状況を確認できます。設定トップメニュー左上の「GPS 情報」アイコンをタッチして GPS 情報メニューを開いてください。



ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。



注意

- ①GPS は、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
- ②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
- ③初めて測位するときや前回測位した場所から 300km 以上離れている場合は、コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
(一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります)

5 設定⑧

設定トップメニューB

システム情報

本製品のシステムリソースの確認ができます。

設定トップメニュー左上の「システム情報」アイコンをタッチしてシステム情報メニューを開いてください。



USB

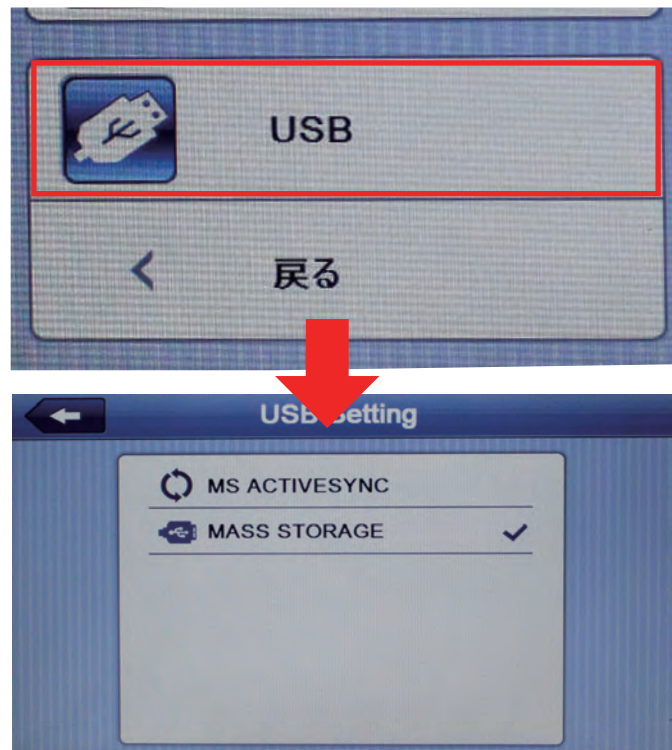
本製品をパソコンのUSBに差し込んだ時、内蔵メモリにデータを転送するかUSB充電をするかを選択できる機能です。文字の右側にレ点が入っている方が選択されています。選択を変える場合は希望する方をタッチしてください。

MS ACTIVESYNC

充電機能（操作可能）

MASS STORAGE

充電 + データ取込み（操作不可）



※microSD カードではなく、本製品の内蔵メモリに記録をします。本体の処理を圧迫するためナビの操作などに影響が出る場合があります。できるだけメディア情報は別売の microSD カードに保存することをおすすめします。

ハードウェア仕様

項目	仕様	
液晶表示器	型名	YM-0022BO
	種類(TFTなど)	液晶:TFT バックライト:LED
	サイズ(インチ)	7インチ
	解像度(横×縦)	800×480 pixel
	視野角(上下左右)	(上 30° 下 35° 左 30° 右 30°)
	輝度	200 cd/ m ²
タッチパネル	静電式	
CPU	MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz 32bit	
内蔵メモリ	256MB(DDR SDRAM) Flash8 GB	
OS	Microsoft WindowsCE 6.0	
音声出力	1.5 W × 1	
入出力端子	イヤホン端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック
	microSDカードスロット	1 スロット(メディア用) 対応 32GB 以下 class10
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
TV受信	TV受信	ワンセグ (470-770 MHz)
	ワンセグ録画機能	録画可能 (録画はワンセグのみ)
その他	エンジン ON/OFF 連動機能	○
電源	電源電圧	DC5V (miniUSB タイプ入力端子)
	消費電力 (W)	1.5W
	待機時消費電力	20mW以下
内蔵バッテリー	種類	リチウムポリマー
	容量 (mAh)/ 電圧 (V)	1100mAh/3.7V
	駆動時間	約 1 時間
	充電時間	約 4 時間
サイズ	約 W184mm×H113mm×D13mm	
質量	約 256g	
動作温度	0 ~ 45℃	
保存温度	-10 ~ 60℃	
付属品	本体	
	車載用 DC アダプター (入力: DC12/24V)	
	車載用吸盤スタンド一式	
	吸盤ベース板	
	取扱説明書 (保証書付き)	

※本製品のデザイン・仕様は予告なく変更する場合があります。

お困りの時は

項目	症状	原因
電源・バッテリーについて	電源が入らない	バッテリー残量が少ない可能性があります。初期充電をしてください。 (充電中はランプが点灯します。) …P24
		ハードリセットを行い、再起動を確認してください。…P17
	バッテリーの持続時間が短い	バッテリーの寿命の可能性ががあります。サポートセンターにご相談ください。…P77
本体について	画面が暗くて見えない	設定で暗くなっている可能性があります。明るさを調整してください。…P66
	画面が消える 画面が映らない	自動 OFF 設定が設定されている可能性があります。バックライト設定を「常にON」に直してください。…P67
	画面がついたり消えたりする	電源コードを確認してください。 ●車のシガーソケットから増設加工せず直接給電してください。 →増設や加工をすると、給電が安定しなくなり不具合が起きやすくなります。 ●DCアダプターのランプと本体のランプが点灯状態になっているかご確認ください。 →点滅している、ついていないなどの場合、電源供給が正常にできていない可能性があります。…P23
		microSD カードを確認してください。 ●SD カードをパソコンなどでフォーマットしてください。 →SD カードの処理エラーの場合があります。 ●SD カードを新しいものと交換してください。 →SD カードが破損している為、エラーが出ている場合があります。 ●SD カードのスピードクラスと容量が対応規格内かを確認してください。 →対応規格以外のSDカードを使用すると、エラーの原因となる場合があります。…P10/73
		本体システムの処理エラーが起きている可能性があります。本体のリセットを試してください。…P17
	タッチパネルの反応が悪い。 ボタンが押せない	保護フィルムをはがしてください。…P17
画面補正をお試しください。…P68		
	音声がでない	音量ボリュームを確認してください。 →スピーカーマークに斜線が引かれている場合消音モードになっています。スピーカーマークをタッチして、消音モードを解除してください。…P66

項目	症状	原因
本体について	テレビが受信できない	電波の受信障害です。 ●アンテナを伸ばしてください。 ●受信環境の良いところに移動してください。 ●スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。…P11/12/30/31
GPS 受信について	電源を入れた時 GPS の受信ができない	初めて使用する時や長時間使用していない時は、コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。…P1/12
	電源 OFF のまま長距離移動後 GPS を受信しにくい	GPS の情報を再設定するため受信に時間がかかります。一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	GPS 感度が悪く 自車位置が 捕らえにくい	本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。
	目的地からずれる	初回使用時は GPS の受信が安定せず、測位がずれる場合があります。何度かご使用いただくと測位が安定しますので少し様子を見てください。
ソフト動作について	動作エラーが発生する	リセットを行うか電源を入れ直してください。…P17/25
その他	動作が停止したり不安定になる	リセットを行うか電源を入れ直してください。…P17/25
	正しい時間が表示されない	●メインメニューの設定で、時間設定を行ってください。 →地域が間違っていないかご確認ください。 …P70 ●GPS を受信してください。
	ナビゲーションアイコンだけタッチしても反応しない	●ナビパス設定が無効になっている状態です。 →以下の順に項目をタッチして設定を行ってください。 メインメニュー「設定」⇒「ナビパス設定」⇒「ナビゲーションパス」右側の青いアイコンをタッチ⇒「ResidentFlash」⇒「RealGPS」⇒「RealNavi.exe」⇒「RealNavi.exe」の右側にチェックマークが入ったことを確認⇒「OK」⇒左上の「←」戻るアイコンをタッチ⇒メインメニュー「ナビゲーション」が反応するか確認して下さい。
	Bluetooth 接続ができない	ペアリング接続に関する Q&A を参照してください。…P55

※ご連絡をいただく前に必ず上記項目をご確認ください。

保証書

本保証書は製品ご購入日から下記保証期間内で、製品本体(消耗部品を除く)に故障が発生した場合に下記内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上で依頼ください。
※無料になる対象は製品のみとなり、検品や発送にかかる送料は対象に含まれませんのでご注意ください。事前のご連絡がない検品・返品に関しては一切お受けできませんのでご注意ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書などの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料で修理いたします。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入店に本保証書を添えてご依頼ください。
 - ご購入店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
 - 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入店名が記入のない場合、或は字句を書換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などの交換などによる故障及び損傷。
 - 液晶、タッチパネルの損傷。
 - ネットオークション、フリマサイト、リサイクルショップ等から購入の中古品
 - 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
 - 修理の際は大切な情報(登録地点など)は必ずメモなどバックアップをおとりください。
初期状態に戻すことがあります。
 - データの取り扱いについて
 - 修理依頼品がメモリーなど記録媒体を搭載または使用する製品の場合、製品に使用した記録媒体などに記録されたデータ(お客様が登録した地図データ、録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容などを含む)を必要に応じて修理の過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理の目的以外に使用いたしません。
 - 本修理サービスにおいて当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業などは一切行いません。
 - 修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の記録媒体などの初期化、交換、工場出荷状態に戻すなどの作業を行うことがあります。その際にお客様の登録データや著作権を含む記録データおよびお客様が追加したファイル、設定などは失われる場合があります。必要なデータおよびファイルなどはあらかじめお客様にてバックアップを作成いただくようお願い致します。
 - 修理などの作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失などが生じる場合があります。当社は、記録データの破損・消失などについての責任は負いかねますので、ご了承願います。
 - 修理などの作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品はベストアンサー株式会社の所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。
- ※修理の際は大切な情報(登録地点など)は必ずデータのバックアップまたはメモなどをおとりください。また大切な記録データ(音楽・映像など)も必ずバックアップをおとりください。

保証書

品番 YM-0022BO	保証期間 ご購入日より1年間	※初期不良期間 購入日から14日間
ご購入日：西暦	年 月 日	お客様名
ご購入店	ご住所・電話番号 (- -) (〒 -)	

必ずご購入店・購入日時がわかる書類(送り状やレシート)をご一緒に保管してください。

お問い合わせ(サポートセンター)

サポートセンターのお問い合わせ先は下記になります。

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意願います。

※返品返金に関するお問い合わせはご購入店にご連絡ください。

製品のお問合せ先	
ベスト・アンサー株式会社	
電話	078-381-9689
FAX	078-330-3689
E-mail	info@bestanswer.jp
営業時間	平日10:00-17:00(土/日/祝祭日は休み)

made in China